取扱説明書

(REV 2.1)

XQH-Series

(PRO & LITE)

安全のために

警　告

警告(WARNING)：本指示に従わない場合、人体に重大な損傷または致命傷を与える恐れがあります。

注　意

注意(CAUTION)：本指示に従わない場合，人体に損傷または器物の破損を与える恐れがあります 。

注

注(NOTICE)：使いやすくするために参考になるような説明を加えます。

警　告

DVR装置を設置する場合、直射日光、ヒーターからの加熱、多湿環境は避けること。
- もし、誤ってこのような環境に設置された場合、装置の性能低下、火災、感電の原因になります。

ぬれた手で電気コードを引っ張ったり、電源プラグに触ったりしないこと。
- 故障、感電または火災の原因になります。

電源コードを強く曲げたり、重い物の下敷きにしたりしないこと。
- 故障、感電または火災の原因になります。

傷んでいる電源コードやプラグ、抜けやすいコンセントは使用しないこと。
- 故障、感電または火災の原因になります。

延長コードをたこ足配線で使用しないこと。
- 故障、感電または火災の原因になります。

DVR装置を勝手に分解したり、修理したり、他用しないこと。
- 故障、故障や感電の原因になります。修理が必要な場合、販売代理店までご連絡下さい。

DVR本体のカバーを勝手に開けたり、換気用の孔から導通のある金属棒を差し込まないでください。
- 特に電源ユニットを開ける場合、作業は専門の技術者に限られます。ご注意ください。

注　意

DVR装置を傾いた場所または平面でない場所に設置しないこと。
- 故障、性能の低下や誤動作の原因になります。

DVR装置が動作中に振動やショックを与えないこと。
- 故障、DVR装置の故障やハード・ディスク(HDD)の重大な誤動作の原因になります。

設置場所が平面で傾斜がなく、汚れていないことを確認します。
設置をおこなう前に本操作説明書を熟読して下さい。

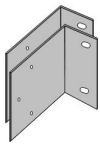
リモコン(電池付き)

DVR装置

USBマウス(オプション)

DC 電源 Adapter

電源ケーブル



ラックマウント

ソフトウェアCD
操作説明書

取扱説明書

注

DVR装置（UDRシリーズ）と同時に提供される上記の同梱品の有無をチェックし、

もし不足品や破損品があった場合、速やかに販売代理店にご連絡下さい。

本製品の外観及び部品は品質向上のために予告なしで変更される場合があります。

Chapter I. システム概要
システム仕様----------7,8
製品特長----------9,10

Chapter II. 本体
外観----------12,13
バックパネル説明----------14~17
接続詳細説明----------18~23
フロントパネル説明----------24,25
リモコン説明----------26
HDDディスク及びODD設置方法----------27,28
システム開始･終了----------29

Chapter III. 監視画面
監視画面----------31
画面分割･ログイン----------32
メニューバー説明----------33
メニュー:外部･PTZ･アラーム----------34
メニュー:状態----------35
メニュー:録画･カメラ色彩･OSD----------36
メニュー:バックアップ----------37
メニュー:ミュート･ログアウト----------38

Chapter IV. 設定
システム----------40
システム– 情報----------41
システム– 日付/時間----------42
システム– ディスク----------43
システム– 使用者----------44
システム– ログ，ログアウト，システム終了----------45
ネットワーク----------46
ネットワーク – LAN----------47
ネットワーク – DDNS----------48
ネットワーク – メール----------49
ネットワーク – コールバック----------50
装置----------51
装置 – カメラ----------52
装置 – アラーム/メインモニター----------53
装置 – ディスプレイ/外部モニター----------54
装置 – その他----------55
録画----------56
録画 – 録画方式/録画----------57
イベント----------58
イベント – モーション----------59
イベント – センサー----------60
イベント – 映像信号なし----------61
イベント – システム----------62

Chapter V. 検索

検索画面----64
メニュー:ディスプレイ／カレンダー検索----65
メニュー:イベント検索／日付・時間検索----66
メニュー:最初・最後・ブックマーク----67
メニュー:検索装置 (内部、バックアップ)----68

Chapter VI. クライアントプログラム

リモート(REMOTE)----70
接続情報及び接続ボタン----71
プログラム情報及び設定----72
状態表示アイコン----73
リモート検索及び設定----74
遠隔設定(カメラ) ----75
遠隔設定(アラーム)----76
遠隔設定(録画)----77
遠隔設定(録画スケジュール)----78
先覚設定(録画方式)----79
遠隔設定(モーション)----80
遠隔設定(モーション連動)----81
遠隔設定(センサー)----82
遠隔設定(センサー連動)----83
遠隔設定(信号なし)----84
遠隔設定(映像信号なし連動)----85
遠隔設定(システム)----86
遠隔設定(ディスクエラー/S.M.A.R.T)----87
遠隔設定(ディスクエラー/S.M.A.R.T連動)----88
再生&一時停止/音量/マウス右ボタン----89
チャンネル変更/分割画面変更----90
PTZ操作----91
遠隔検索(映像再生画面/SECTION)----92
遠隔検索(日付･時間検索&イベント検索)----93
遠隔検索(接続情報及び接続ボタン/再生ボタン)----94
遠隔検索(分割画面変更ボタン/音量/色相像調整ボタン)----95
遠隔検索(保存ボタン)----96
遠隔検索(印刷プレービュー)----97
遠隔検索(マウス右ボタン)----98
遠隔検索(カレンダー検索)----99
バックアップ再生----100
再生----101

Chapter VII. 付録

フロントボタン説明----105
Hot Key----106
製品保証書----107

I. システム概要

システム仕様

		XQ-P400H	XQ-P900H	XQ-P1600H
ビデオ入力 / スールアウト		4/4	9/9	16/16
分割画面		1, 4	1, 4, 9	1, 4, 9, 16
モニター出力t		1ch Composition / 1ch S-Video/1ch VGA		
スポットアウト		2ch		
オーディオ 入/出力		4 in / 1 out(G.723)		
録画解像度		720x480, 720x240, 360x240		
圧縮方式		H.264 Level 1,2,3		
監視速度	NTSC	120fps	270fps	480fps
録画速度 (360X240)	NTSC	120fps	240fps	480fps
再生 (360X240)	NTSC	120fps	240fps	240fps
OS		Embedded Linux		
ネットワーク		10/100 BaseT		
USB		USB2.0 (前面パネル 2ポート, 後面パネル 1ポート)		
HDD		Max 4EA HDD		
Console		RS232C		
PTZ制御		RS485		
アラム入力/出力		4/4	8/4	16/4
Front Key		34 Key, Jog/Shuttle		
リモコン		リモコン ID 設定可能		
Watchdog / Power 모니터		Yes		
LCD		16X1 Line green back LCD		
前面 LED表示		電源、ネットワーク、HDD		
外形寸法/重量		435(W) x 425(D) x 87(H) mm / 7kg (CDRW, HDDなしの場合)		
動作周辺温度/湿度		0~45℃ / 5~85%		
供給電源/消費電力		Micro ATX 100-120/220-230Vac, 60/50Hz, 6/3A		

システム仕様

		XQ-L400H	XQ-L900H	XQ-L1600H
ビデオ入力 / スールアウト		4	9	16
分割画面		1, 4	1, 4, 9	1, 4, 9, 16
モニター出力t		1ch Composition		
スポットアウト		1ch		
オーディオ 入/出力		4 in / 1 out(G.723)		
録画解像度		720x480, 720x240, 360x240		
圧縮方式		H.264 Level 1,2,3		
監視速度	NTSC	120fps	270fps	480fps
録画速度 (360X240)	NTSC	120fps	240fps	240fps
再生 (360X240)	NTSC	120fps	240fps	240fps
OS		Embedded Linux		
ネットワーク		10/100 BaseT		
USB		USB2.0 (前面パネル 1ポート, 後面パネル 1ポート)		
HDD		Max 3EA HDD		
Console		RS232C		
PTZ制御		RS485		
アラム入力/出力		4/1		
Front Key		33 Key		
リモコン		リモコン ID 設定可能		
Watchdog / Power モニター		Yes		
LCD		N/A		
前面 LED表示		電源、ネットワーク、HDD		
外形寸法/重量		395(W) x 390(D) x 70(H) mm / 3.5kg (CDRW, HDDなしの場合)		
動作周辺温度/湿度		0 ~ 45℃ / 5 ~ 70%		
供給電源/消費電力		Adapter DC 12V, 50/60Hz , 5A	Adapter DC 12V, 50/60Hz, 7A	

製品特徴

➢1秒で480フレームの録画可能 - CIF(360*240)の場合

➢優れたデザイン、ジョグ・シャトル、LCDなどのユーザ向けインタフェイス

➢ カメラ別に解像度、画質、フレーム数の調整が可能

➢ USBマウス対応で簡単操作

➢ LIVE画面の編集, デジタルズーム、SPOT出力対応

➢ イベント録画、集中録画、スケジュール録画などの録画モード対応

➢時間、カレンダー、イベント検索対応

➢ USB2.0、DVD-RW対応

➢ AVIバックアップ、ミニビューアバックアップなど便利なバックアップ方式

➢ 10/100 Base-T対応

➢ DDNS, NTP, メール、コールバックなどのネットワーク機能

➢ HDDディスク情報表示、 S.M.A.R.T機能対応

➢ユーザー権限設定可能

➢監視、検索、CMS, AGENTなどのネットワークソフト付属

製品特徴

➢1秒で480フレームの録画可能 - CIF(360*240)の場合

➢優れたデザイン、ジョグ・シャトル、LCDなどのユーザ向けインタフェイス

➢ カメラ別に解像度、画質、フレーム数の調整が可能

➢ USBマウス対応で簡単操作

➢ LIVE画面の編集, デジタルズーム、SPOT出力対応

➢ イベント録画、集中録画、スケジュール録画などの録画モード対応

➢時間、カレンダー、イベント検索対応

➢ USB2.0、DVD-RW対応

➢ AVIバックアップ、ミニビューアバックアップなど便利なバックアップ方式

➢ 10/100 Base-T対応

➢ DDNS, NTP, メール、コールバックなどのネットワーク機能

➢ HDDディスク情報表示、 S.M.A.R.T機能対応

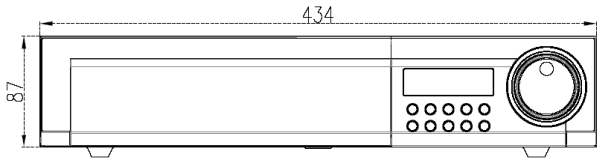
➢ユーザー権限設定可能

➢監視、検索、CMS, AGENTなどのネットワークソフト付属

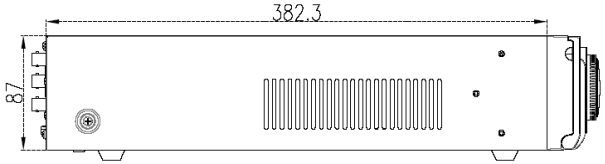
Chapter-II. 本体

外観

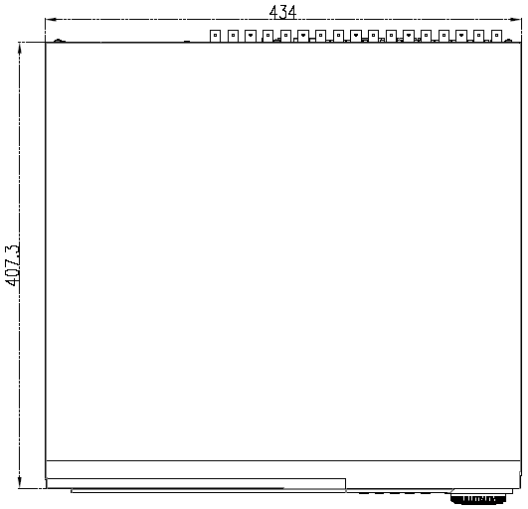
1) フロントパネル



2) バックパネル

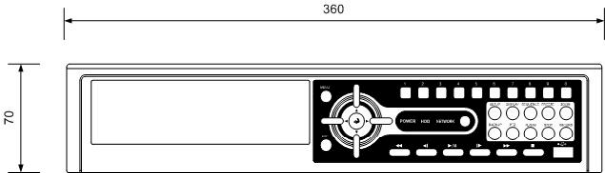


3) 平面

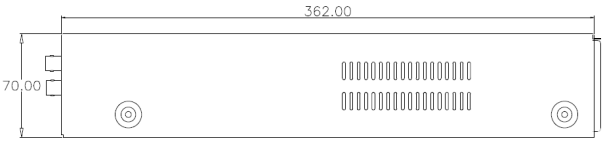


外観

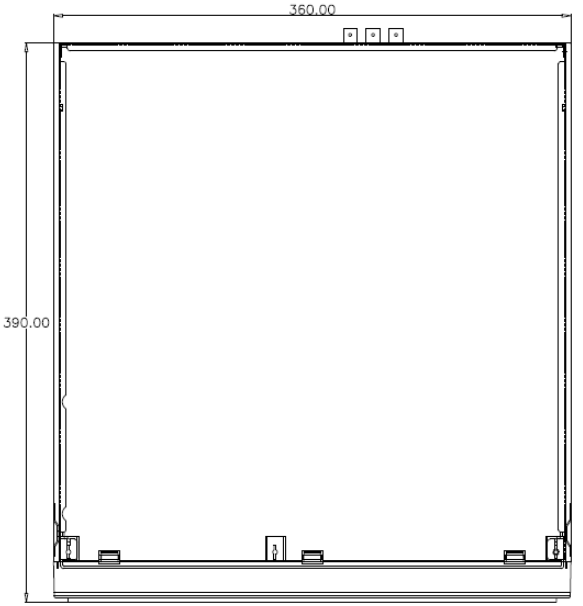
1) フロントパネル



2) バックパネル

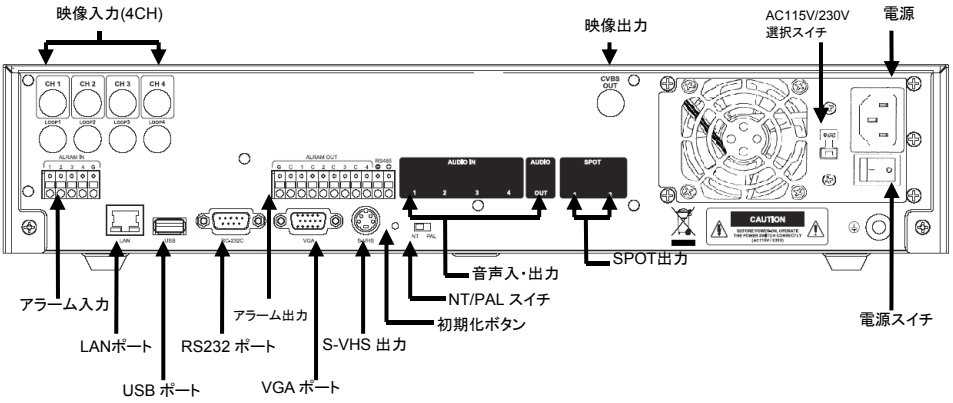


3) 平面

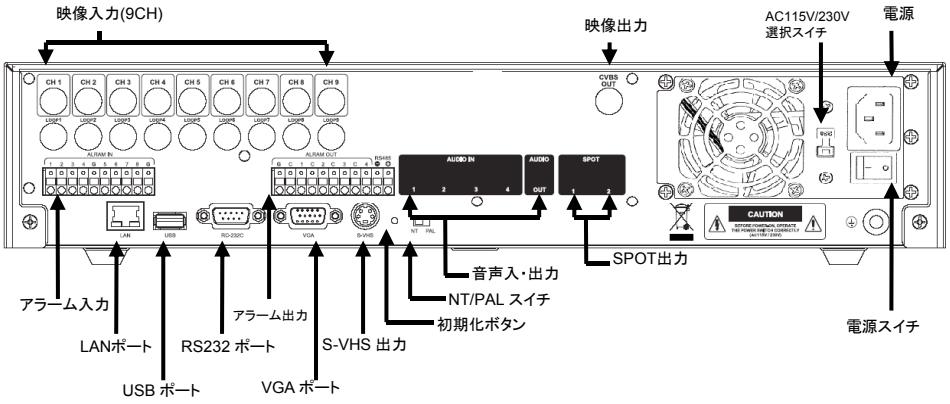


DVR バックパネル

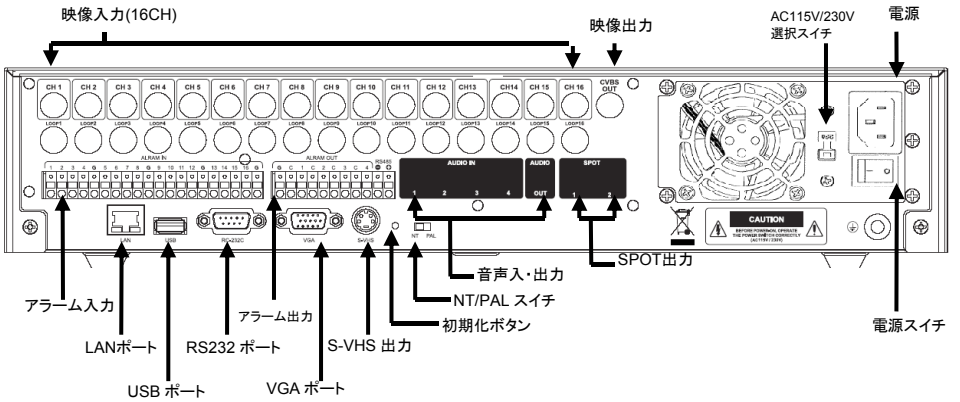
1) 4CH バックパネル



2) 9CH バックパネル

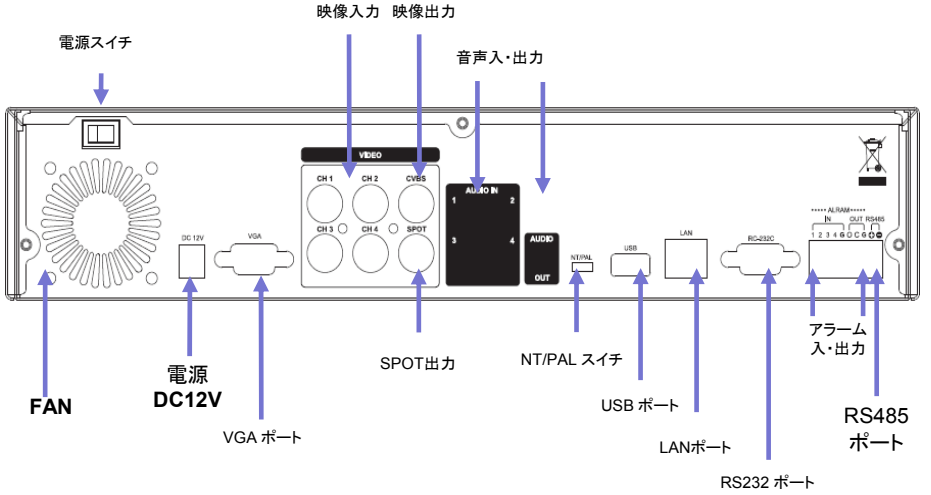


3) 16CH バックパネル

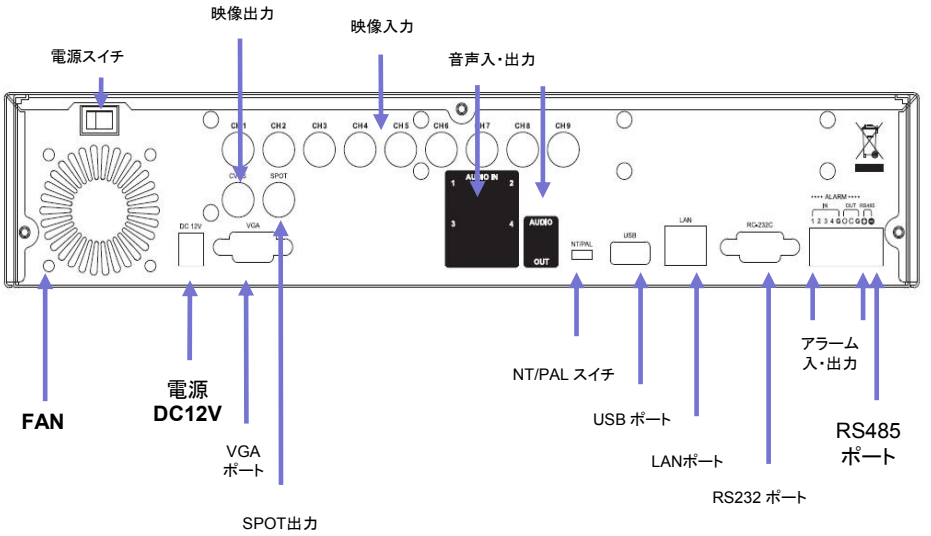


DVR バックパネル

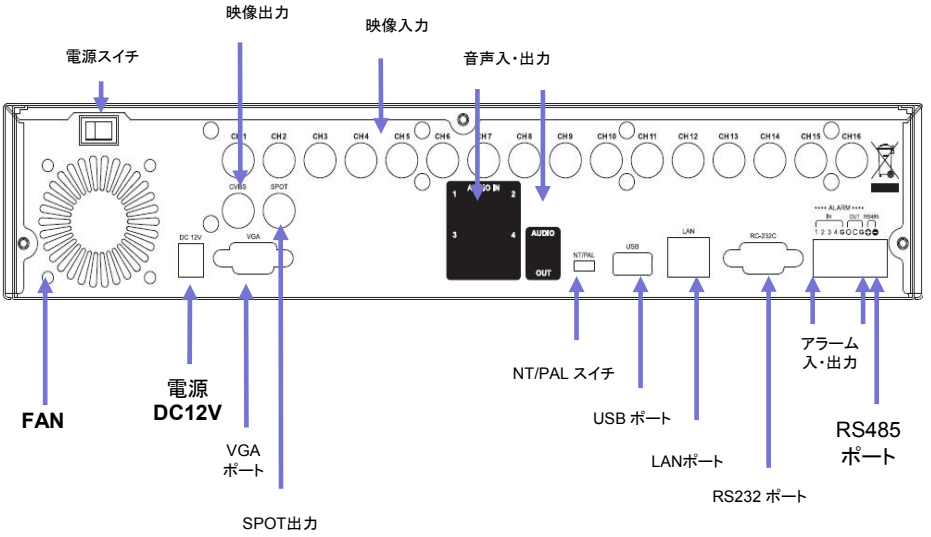
1) 4CH バックパネル



2) 9CH バックパネル



3) 16CH バックパネル



接続詳細説明

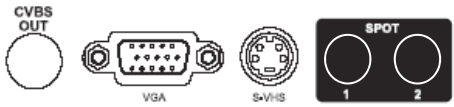
1)映像接続

映像信号(カメラ映像)を同軸ケーブルの BNCコネクタに接続します。

2) LOOP OUT 接続

LOOP OUTの BNCコネクタから出力された映像信号を他装置の映像入力に転送します。
注意 : LOOP OUT から出力された映像信号が他装置に接続されない場合、映像が劣化されますので
LOOP OUT側のみにBNCコネクタを接続しないでください。

3) モニター接続

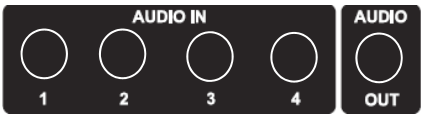


CVBS OUT : CCTV用のCRTモニターを接続します。
S-VHS : CCTV用 CRTモニターをS-VHS(S-VIDEO)で接続します。
VGA : PC用モニターまたはLCDモニターを接続します。(DVI 対応しない)

注

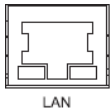
映像出力の初期状態はCVBS + VGAに設定されています。
画面出力変換はフロントパネルのディスプレイボタンを3秒以上押し続けると
CVBS OUT に変換されます。
CVBS OUT専用モードにするとCVBS OUTの画質が少しよくなります。

4) 音声接続



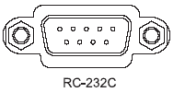
音声信号(マイク)を音声入力(4CH) RCA コネクタに接続して音声出力をスピーカに接続します。

5) ネットワーク接続



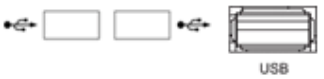
ネットワークは10/100 BaseT対応でRJ-45ピンのカテゴリ5ケーブルに接続します。

6) RS232 ポート接続



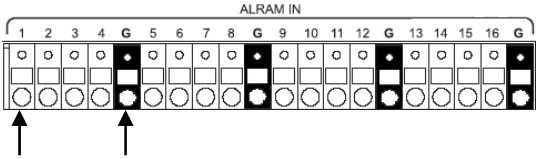
RS232ポートで PCおよびその他の装置と接続して拡張機能として使います。

7) USB ポート接続



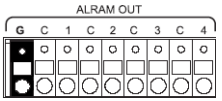
フロント側 2ポート、バック側 1ポートの 全部で 3ポートのUSBを対応します。USBポートに接続して使用できる器機は USBマウス、USB外付け HDD、USBメモリなどがあります。

8) アラーム IN(センサー)接続



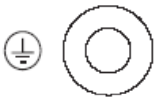
アラーム 入力N（センサー）の信号をSIGNAL+G(GND)形式で接続します。
参考 : 電気的な仕様は Max 6V/50mA

9) アラーム出力接続



* アラーム出力 1~4CH
ブザー、電灯など外部装置のON/OFFができます。
アラーム出力のモードはN・O/N・Cのモードがあります。
参考:電気的な仕様は Max24V/2A

9) 接地(Field GND) 接続



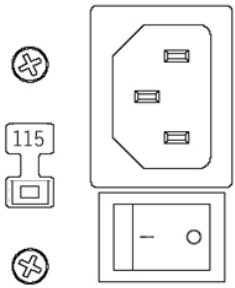
サージ、静電気、ノイズからDVRを守り、使用者の安全のためにボルトにワイヤを接続して接地に接続します。

10) 出荷初期値スイチとNTSC/PAL変換スイチ

バックパネルのNTSC/PALスイチの左側の出荷初期値スイチは DVR設定値を出荷初期値に戻します。

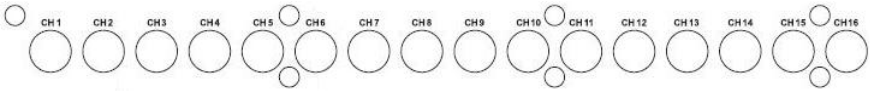
NTSC/PAL のスイチは日本国内はNTSCになっています。PALに変更しないでください。

11)電源接続　<電源入力コネクタ、AC 115V/230スイチ、電源スイチ>



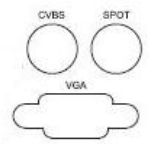
接続詳細説明

1)映像接続



映像信号(カメラ映像)を同軸ケーブルの BNCコネクタに接続します。

2) モニター接続

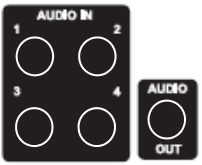


CVBS OUT : CCTV用のCRTモニターを接続します。
VGA : PC用モニターまたはLCDモニターを接続します。(DVI 対応しない)
SPOT OUT : CCTV用のCRTモニターを接続します。

注

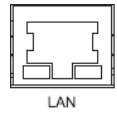
映像出力の初期状態はCVBS + VGAに設定されています。
画面出力変換はフロントパネルのディスプレイボタンを3秒以上押し続けると
CVBS OUT に変換されます。
CVBS OUT専用モードにするとCVBS OUTの画質が少しよくなります。

3) 音声接続



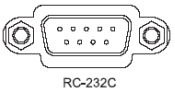
音声信号(マイク)を音声入力(4CH) RCA コネクタに接続して音声出力をスピーカに接続します。

4) ネットワーク接続



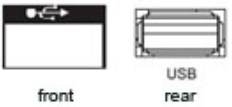
ネットワークは10/100 BaseT対応でRJ-45ピンのカテゴリ5ケーブルに接続します。

5) RS232 ポート接続



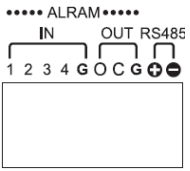
RS232ポートで PCおよびその他の装置と接続して拡張機能として使います。

6) USB ポート接続



フロント側 1ポート、バック側 1ポートの 全部で 2ポートのUSBを対応します。USBポートに接続して使用できる器機は USBマウス、USB外付け HDD、USBメモリなどがあります。

7) アラーム IN(センサー) / 出力 接続, RS 485



* アラーム 入力 1~4CH
N（センサー）の信号をSIGNAL+G(GND)形式で接続します。
参考：電気的な仕様は Max 6V/50mA

* アラーム出力 1CH
ブザー、電灯など外部装置のON/OFFができます。
アラーム出力のモードはN・O/N・Cのモードがあります。
参考:電気的な仕様は Max24V/2A

* RS485
Half-duplex シリアル通信を使って外部装置,または制御キーボードのような制御システムでリモートコントロールが できます.

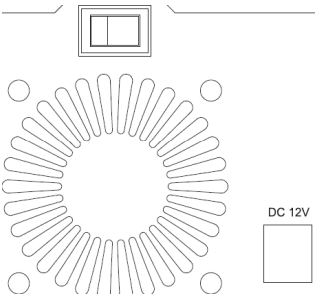
また PTZ(Pan,Tilt,Zoom) カメラを制御するのに使うことができます.
DVRの RS485 +,- に連結します.

8) NTSC/PAL変換スイチ

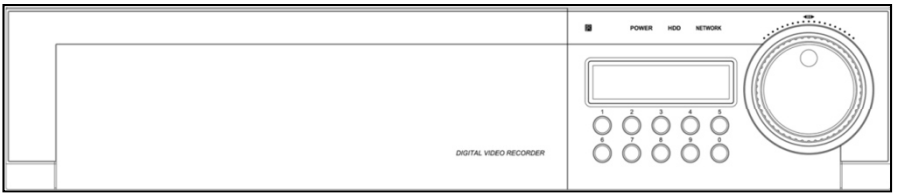
NTSC/PAL変換スイチ

NTSC/PAL のスイチは日本国内はNTSCになっています。PALに変更しないでください

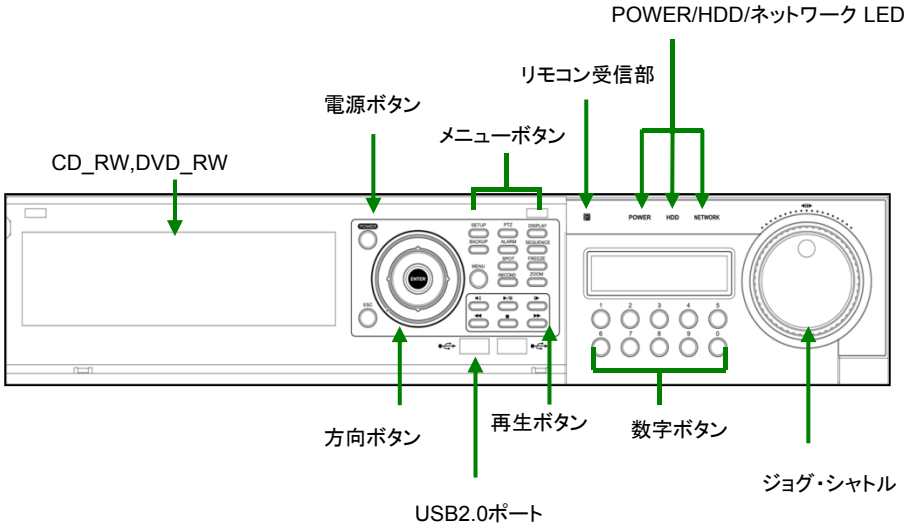
9))電源接続　<電源入力コネクタ、Adapter DC 12V / 5A~7A、電源スイチ>



フロントパネル説明

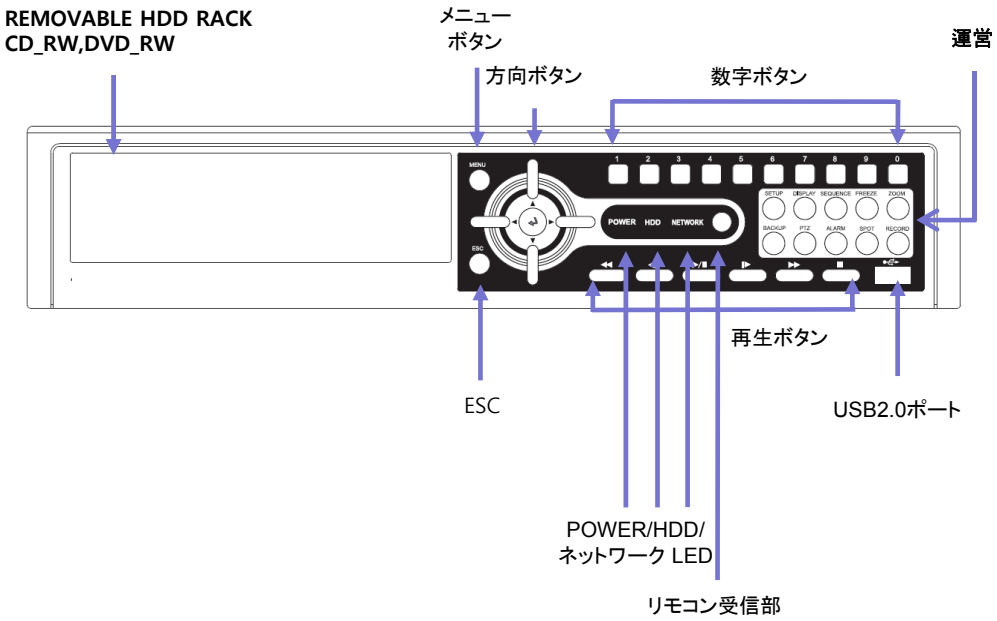


<フロントパネルのカーバを閉じた状態>



<フロントパネルのカーバを閉じた状態>

フロントパネル説明



- メニューボタン：ライブ及び検索画面で各種運営メニューを浮かべるボタン
  (マウス右側クリックのような動作)
- 方向ボタン：各種メニュー状態での移動, 設定値変更, PTZ位置移動などを運営する時使われます.
  基本動作方式は左,右：項目移動 / 上, 下：設定値 変更 / Enter：確認
- 数字ボタン：1チャンネル画面見直し, 各鐘設定値直接入れるなどに使われます
- 運営ボタン：Setup, Backup など DVR 運営に必要な技能をすぐ操作しようとする時使われます.
- ESCボトン：上位メニュー状態に出ること, 取り消しなどの機狽ｳ使われます.
- LED：電源 状態, HDD動作状態, ネットワーク動作状態を見せてくれます
- リモコン 受信部：リモコンを使う時データを 受信する所です.(リモコンはオプション事項です.)
- 再生ボタン：検索, 再生 時 Play, Pause, FF, REW などを運営する時使われます
  (Stopボタンを押せば再生画面からライブ画面に抜け出ます)

リモコン説明

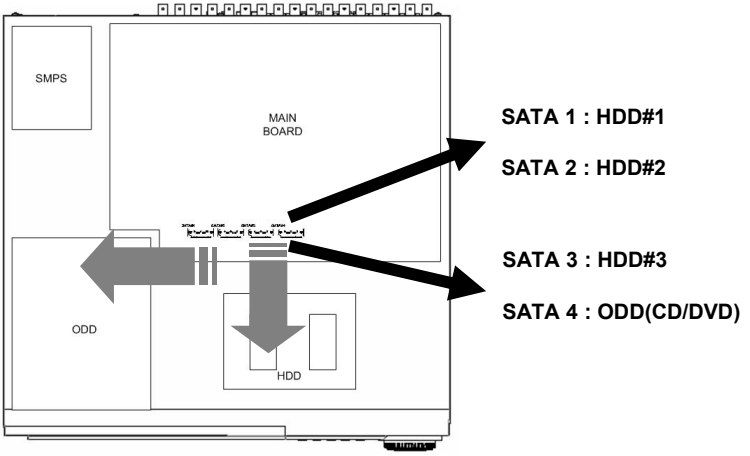
アイコン	機能	追加機能
	P電源ボタン	
	再生ボタン	最後録画時点から再生
	停止	監視画面に戻る
	逆早送り	録画データ最初に
	早送り	録画データ最後に
	逆コマ送り	カレンダー検索
	コマ送り	イベント検索
	画面分割	画面出力変換
	シーケンシャル	
	画面フリーズ	
	ズーム	
	設定	
	バックアップ	
	色調整	
	状態	
	確認(エンター)	
	方向ボタン	
	メニュー	
	戻る	
	録画	

○リモコン IDの変更
1. 'ID' ボタンを3秒間押し続けます。
2. LEDが点灯されます。
3.2桁の数字を入力します。(00 ~ 99) – 00の場合には ID機能なしですべて作動
   - IDは 01~99番まで指定可能です。
4.設定値を保存するとLEDが点滅した後、消えます。
5.ボタンを押すと変更されたコード値が送信されます。
6.LEDはデータが送信されると点灯されます。

HDDディスク及びODD設置方法 (SATA Type)

装着方法

1. ODD(CD-RW/DVD-RW)装置は必ず SATA 4 に設定しなければなりません。
2. HDDディスクの方は SATA 1 に設定してください。



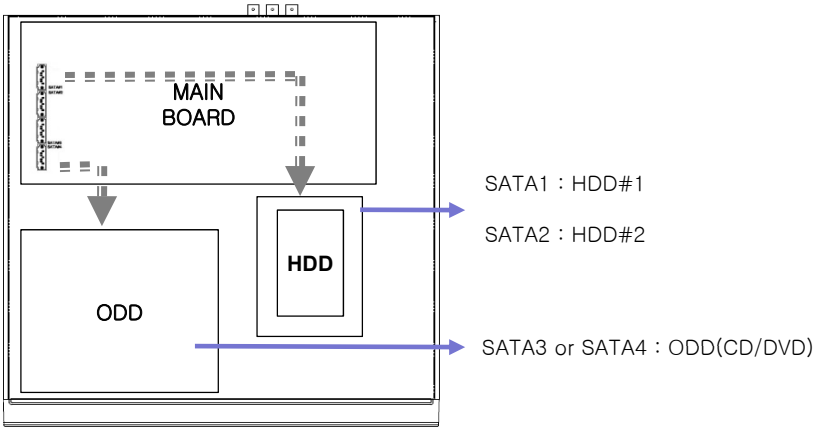
HDD 装着台数による装着方法

状況	HDD 番号	HDD 装着位置	システム指定	ODD(CD-RW/DVD-RW) 装着位置
		コネクタ番号		コネクタ番号
HDD 1台装着時	HDD#1	SATA 1	システム	**SATA 4**
HDD 2台装着時	HDD#1	SATA 1	システム	
	HDD#2	SAAT 2		
HDD 3台装着時	HDD#1	SATA 1	システム	
	HDD#2	SATA 2		
	HDD#3	SATA 3		

HDDディスク及びODD設置方法 (SATA Type)

装着方法

1. ODD(CD-RW/DVD-RW)装置は必ず SATA 4 に設定しなければなりません。
2. HDDディスクの方は SATA 1 に設定してください。



HDD 装着台数による装着方法

状況	HDD 番号	HDD 装着位置	システム指定	ODD(CD-RW/DVD-RW) 装着位置
		コネクタ番号		コネクタ番号
HDD 1台装着時	HDD#1	SATA 1	システム	**SATA 3 or SATA 4**
HDD 2台装着時	HDD#1	SATA 1	システム	
	HDD#2	SATA 2		

システム開始

• 電源ケーブルをDVRに入れます。

•バックパネルの電源スイチまたはPOWERボタンを利用して電源をONにします。

•起動時間は約1分30秒ぐらいかかります。

システム終了

• POWERボタンを押してシステムを終了します。

• またはログイン状態で [設定 > システム > システム終了]を選択して終了します。

Chapter-III. 監視画面設定

監視画面

1 監視画面 ：各CH別の映像画面を監視するモードです。

<画面表示設定>

左上	：カメラ名 P – Pan/tilt A – 音声
右上	：録画状態(青-常時録画, 赤-イベント録画) モーション状態
真ん中	：映像信号なし, 画面隠し(隠しカメラ)

2 情報バー ：DVR状態表示(バックアップ、HDD使用量、現在時刻、シーケンシャル、フリーズ、ログイン情報など)

画面分割

画面分割ボタンまたはマウスメニュー: 1 -> 4 -> 9 -> 16順に変更

CH指定

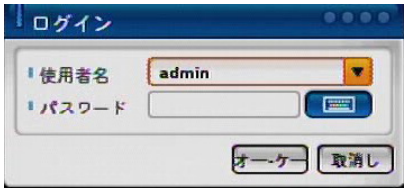
DVRフロントパネルまたはリモコンの数字ボタンを押すと指定CHに切替えます。

マウスの場合はCHをクリックします。

参考- 1番CHは10~16CHの1と重なるため押してからしばらく経つと1番CHに切替えます。(約2.5秒)

ログイン

設定及び各種機能を使うためにはログインしなければなりません。
初期値: ID – admin
PASS - 1



セキュリティのためにID、パスワードを変更してください。

カメラ割り当て (CHの変更)

例) 4番CHと12番CHを切り替える

1)監視画面状態でマウス右ボタンまたはリモコンのメニューボタンでメニュー画面が表示されるとその他➔カメラ割り当てを選択します。

2) 1番 CHにオレンジボクスが表示されたら方向ボタンで変更したいCHに移動します。

3)変更したいCHを数字ボタンで入力します。

メニューバーの説明 * メニューボタンまたはマウス右ボタンでメニューを開けます。

ディスプレイ
: 1,4,9,16分割順に切替えます。

その他

シーケンシャル監視
: CHが順番に切替えます。

フリーズ
: 画面を一時停止します。

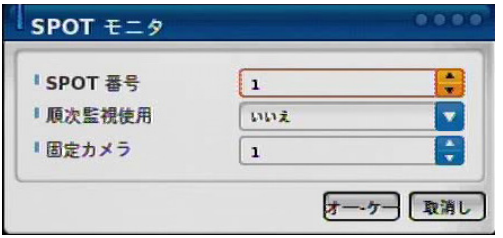
ズーム
1画面にした場合に使えます。
ズームボタンを押した後、拡大する位置に方向ボタンで移動します。
ズーム適用 : ENTERボタンを押すと拡大さらます。

<Before Zooming>

<After Zooming>

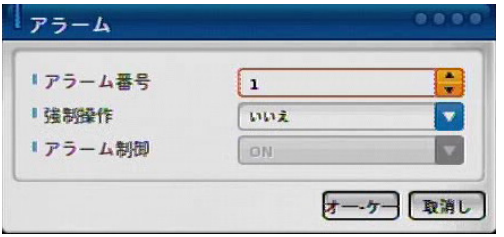
ズーム機能はデジタルズームです。画質の劣化があります。

外部モニター
2ヶ所の外部モニターに接続できます。メニューバーではシーケンシャル、固定の選択が可能でシーケンシャルのCH選択は設定 > 装置 >外部モニターで設定できます。



パン・チルド
上下左右、ズーム/フォカス/アイリス/プリセット設定および移動などのができます。
各機能はPTZカメラのプロトコルによって制限があります。

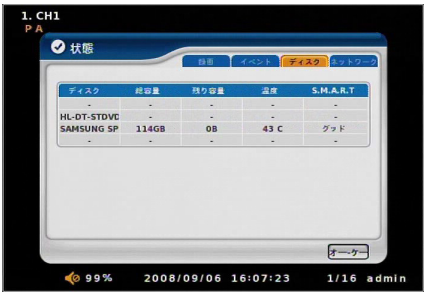
アラーム
アラーム出力機能を設定します。
強制制御機能でアラームを強制に鳴らすことができます。



状態

録画
現在、設定された録画状態です。

イベント
現在、感知/動作しているイベント情報です。



ディスク
現在、ディスクの状態をです。
S.M.A.R.T機能でHDDディスクの状況を実時間
チェックして表示します。

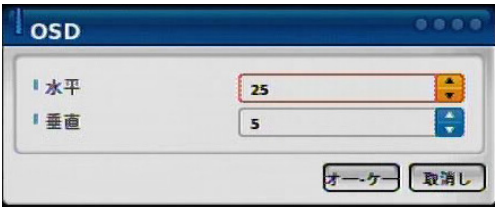
温度および状態を把握して管理者にお知らせします。

ネットワーク
現在のネットワークの情報です。
現在、接続されているクライアントの接続情報が
表示されます。

緊急録画
緊急状況時、高画質·フレームを高くして録画します。
録画レベル設定は設定→録画項目でイベント録画フレーム数/画質によります。

カメラ色調整
カメラ(CH別)の色を調整します。

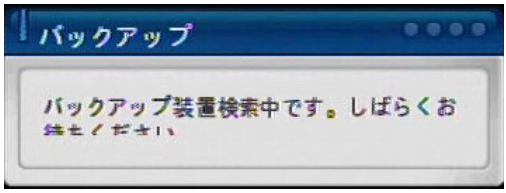
OSD
画面上の各OSD(ON SCREEN DISPLAY)の位置を変更します。
モニターの種類によってOSDの一部メニューが見れない場合に使用します。



検索
検索項目を選択します。

バックアップ
録画データをバックアップする時に選択します。
バックアップ装置はUSB装置、CD-R/RW、DVD-R/RWなどを対応します。

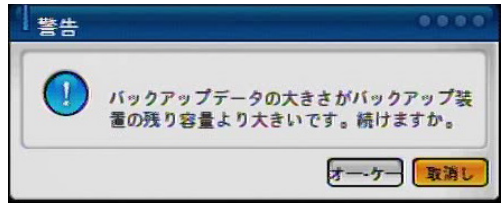
1) バックアップ装置検索



2) バックアップデータの選択

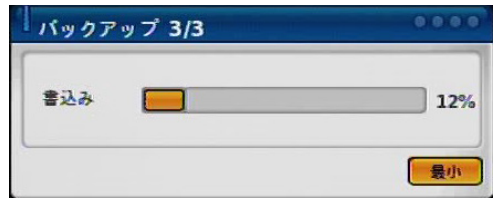
3) バックアップデータ容量を計算します。

4) 媒体より容量が大きい場合のメッセージ



5) 確認後、イメージ作成

6) CD/DVDに焼きます。

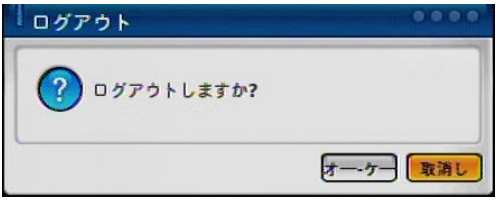


注　意

DVD にバックアップする場合はDVD−RW媒体を確認して使ってください。対応していない媒体を使う場合はバックアップされない場合があります。

ミュート
音をミュートにします。

ログアウト
設定または検索が終わってプログラムをロックする機能です。
手動ログアウト機能で自動ログアウトにするためには設定 > システム > 使用者項目で設定可能です。



Chapter-IV. 設定

設定画面

システム

システム関連の設定を行います。

- 情報
- 日付·時間
- ディスク
- 使用者
- ログ
- ログアウト
- システム終了

情報

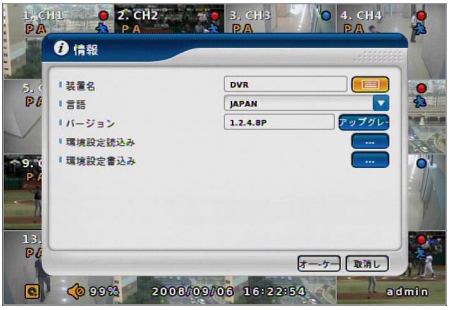
情報

装置名： 任意の装置名を入力します。

* 装置名はメール転送、コールバックなどで応用されます。

言語：言語を選択します。

バージョン：ファムウェアバージョン情報です。



アップグレード：最新バージョンにアップグレードを行います。

注　意

応用プログラムのみのアップグレード：USB装置に最新バージョンをコピーした後、アップグレードボタンをクリックするとアップグレードされます。(*.TUFファイル)
(お勧め)

フールバージョンアップグレード: USB装置のルートディレクトリにフールバージョン用のファイルをコピーしてシステムを再起動するとアップグレードされます。(*.BINファイルの他)

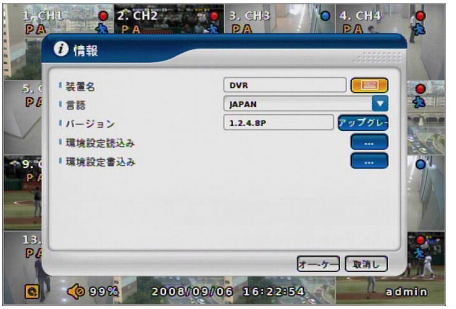
注

最新バージョンは販売代理店にお問い合わせお願いします。

設定値の読み込み：設定値を初期化するかUSB装置に保存されたデータを読み込むことができます。
設定値保存：設定値をUSBに保存します。

日付 / 時間

日付 / 時間
システムの日付、時刻および標準時間代を設定します。

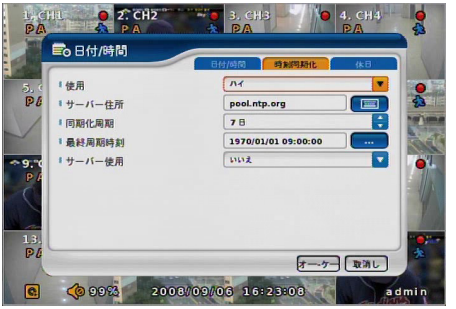


注　意

設置後には必ず日付/時間を設定してください。

時間同期化
インタネットタイムサーバーを通して時間を同期化します。

*初期設定されたタイムサーバー以外の
　サーバーを指定することも可能です。



注　意

日付/時間項目で標準時間を選択して時間同期化を行います。

休日
休日に日付を指定すると指定された日付は日曜日のスケジュールに自動変更されます。

注　意

録画設定でスケジュール録画設定に設定しなければ適用されません。

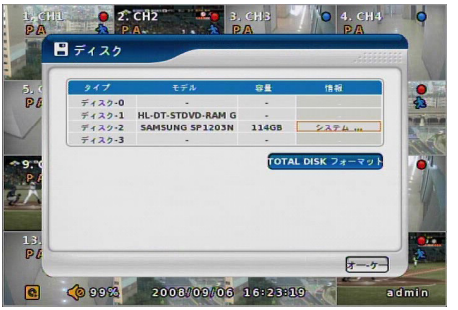
HDDディスク

HDDディスク
装着されているHDDディスク情報を表示します。

IMPORTED : HDDディスクが装着

RECORD : 録画可能なHDDディスク

SYSTEM : HDDディスクの中でシステム用として
割り当てられたHDDディスク

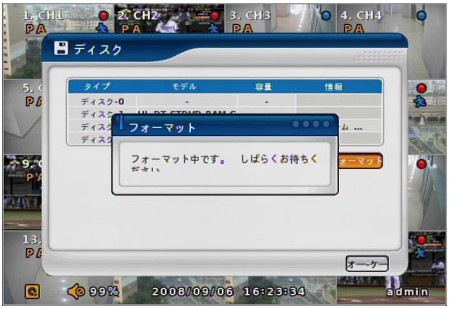


全てHDDディスクフォマット
装着されたHDDディスクを全てフォマットします。
(HDDディスクを個別でフォマットすることも可能です。

注　意

システムログ情報および臨時ファイルを生成するためにHDDディスクの中で1台は必ずシステム用として設定しなければなりません。設定しない場合バックアップ不可などの制限があります。

<システムHDDディスク選択画面>



<フォマット中の画面>

注　意

**CD-RW/DVD-RW などのODD装置は必ずSECONDARY SLAVEに設置しなければなりません。
(JR 2 コネクタケーブルに接続した後、SLAVEにジャンパ設定)**

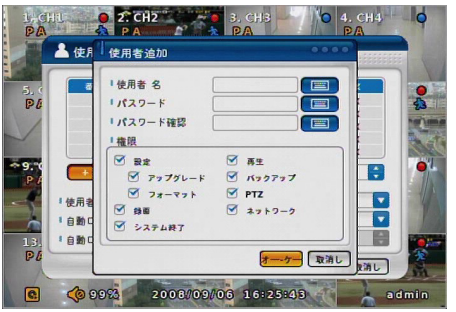
使用者

使用者
現在、登録された使用者のリストを表示します。
使用者のアカウントを追加・削除することができます。

+ ボタンでアカウントを追加
X ボタンでアカウントを削除

使用者の追加
使用者のアカウントを追加します。

使用者追加時、右側の権限項目をチェックして
権限を与えることができます。



注

権限項目で「設定」にチェックすることは管理者と同じレベルの権限を与えることになりますので管理者以外には「設定」にチェックするのには気を付けて下さい。

認証
ログインの使用選択です。
「使用する」に設定されていた状態でログアウトすると各設定およびメニューに入る時にログインしないと入れなくなります。

自動ログアウト
一定時間が経過すると自動でログアウトする機能です。

自動ログアウト時間
自動ログアウトの時間を設定します。

ログ

ログ
システムまたは各イベントに関する情報を記録します。

初期化：全てのログ情報を削除します。

上・下ボタン：画面上に表示されているログを
10コ単位で変換します。

⏳ ログの最初に戻ります。

⏳ ログの最後にも戻ります。

ログアウト
設定を終了する時にログアウトします。

システム終了
システムを終了します。
フロントパネル、リモコンのPOWER OFFボタンと同じ機能です。

ネットワーク

ネットワーク

各ネットワーク関連項目を設定します。

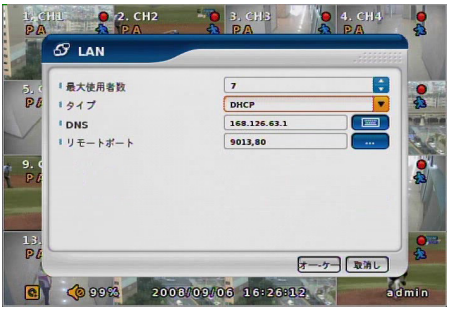
- ➢LAN
- ➢DDNS
- ➢メール
- ➢コールバック

LAN

最大接続数
最大接続可能なクライアント数を設定します。
(最大7ヶ所)

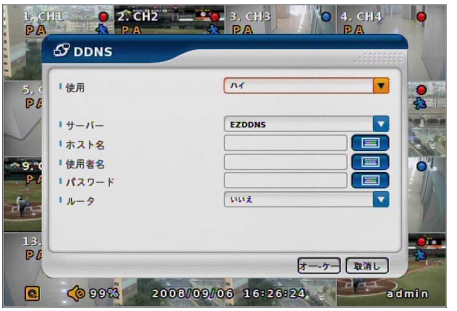
STATIC タイプ
固定IP使用時選択します。
IP, GATEWAY, NETMASKなどを設定します。

DHCP
DHCP用のIPを自動割り当てする場合に選択します。
使用者はDNSのみ設定します。



ADSL (PPPoE)
PPPoEと同じように ADSL LINEの中で使用者
アカウント (ID)とパスワードを入力するネットワークで
設定します。

DDNS(ダイナミック DNS)



使用
DDNS機能のオン・オフを選択します。

変動IP環境でネットワーク機能が使える機能です。

SERVER
DDNS用サーバーを選択します。

EZDDNS : 弊社が管理しているDDNS専用サーバー
➔ www.ezddns.com

DYNDNS: DDNS 共通サーバー

ホストネーム
IPアドレスの代わりに変動IP環境で使用する接続名です。
必ずDDNSサーバーに登録したホストネームを入力してください。

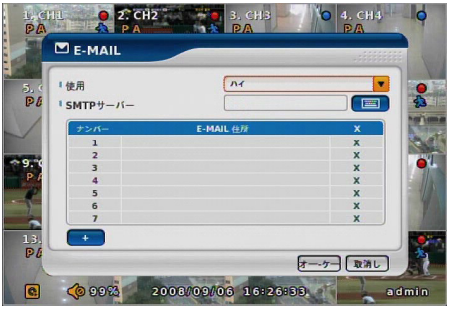
ユーザー名 / パスワード
DDNSサービスに加入時、登録したIDとパスワードを入力します。

ルータ
ルータが設置された場合にチェックしてください。

メール

使用
メールを転送するかを選択します。

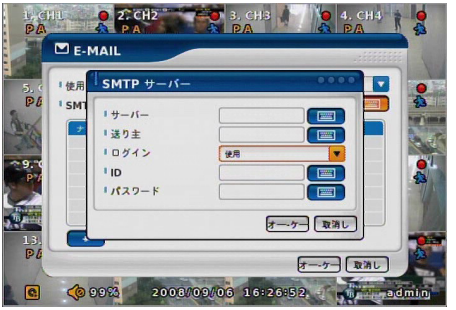
システムから発生するイベントなどをメールで
転送する機能です。



SMTPサーバー
メール発送するためのSMTPサーバー名を入力します。

認証
アカウント認証が必要なサーバーはチェックします。

ID / パスワード
IDおよびパスワードを入力します。



コールバック

使用
コールバック機能使用中に選択します。

システムで発生するイベントやシステム情報を指定された
PCに設置された AGENTプログラムに転送する機能です。

コールバック追加
コールバック機能を連動させるPCのIPアドレスを
登録します。

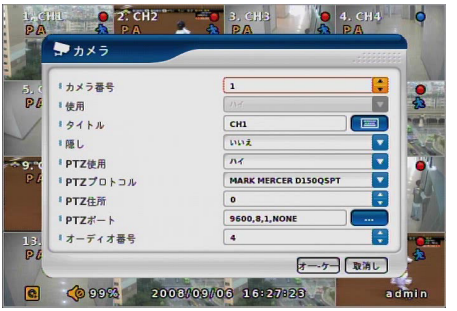
装置

装置

カメラ、アラームおよび各モニターをコントロールする項目です。

- ➢カメラ
- ➢アラーム
- ➢ディスプレイ
- ➢メインモニター
- ➢外部モニター
- ➢その他

カメラ

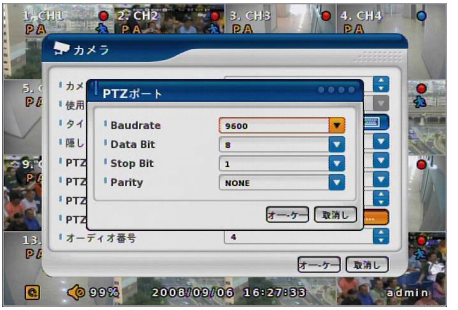


使用
現在のカメラ (CH)に対して使用するかを選択します。

カメラ名
カメラ名を変更します。

隠しカメラ機能
録画およびイベント設定などは正常に動作するが
監視映像を表示しない機能です。

PTZ使用
PTZ機能のオン・オフを選択します。



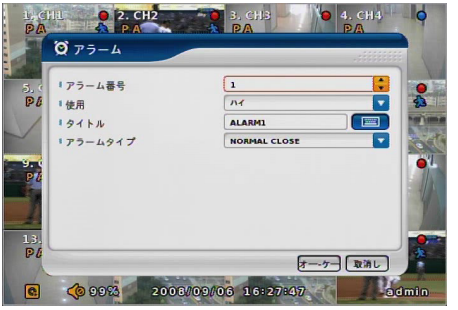
PTZプロトコル
PTZカメラのプロトコルを選択します。

PTZ ID
PTZカメラのIDを選択します。

PTZ ポート
指定したプロトコルの BAUDRATE, データ BITなどの詳細設定ができます。

アラーム

使用
アラームのオン･オフを選択します。

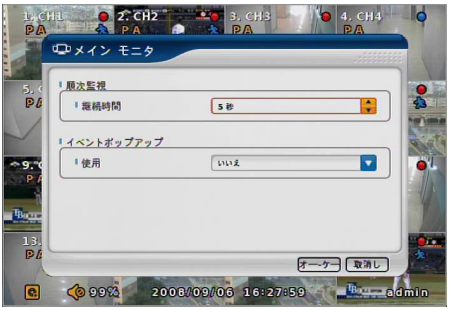


アラーム名
アラーム名を変更します。

アラームタイプ
アラームタイプを選択します。
NORMAL OPEN(N/O), NORMAL CLOSE(N/C)
2のタイプがあります。

メインモニター

メインモニターのシーケンシャル、イベントポプアップなどの
機能を設定します。

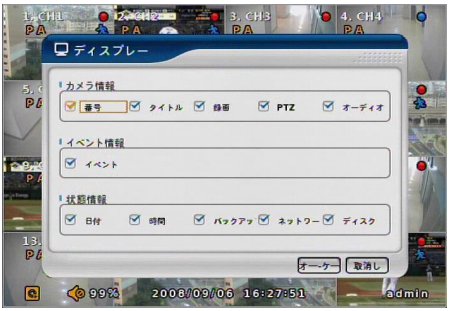


シーケンシャル
画面切替の時間を設定します。

イベントポップアップ
イベント発生時のポップアップを設定します。

ディスプレイ

画面上に表示される OSDの表示を設定します。



カメラ情報
カメラ番号、カメラ名などの表示が選択できます。

イベント情報
イベント関連のOSDの表示が選択できます。

その他情報
その他のOSDの表示が選択できます。

外部モニター

外部モニターの設定です。

外部番号
外部出力番号を選択します。

外部シーケンシャルの使用
外部に出力されるCHのシーケンシャルを選択します。

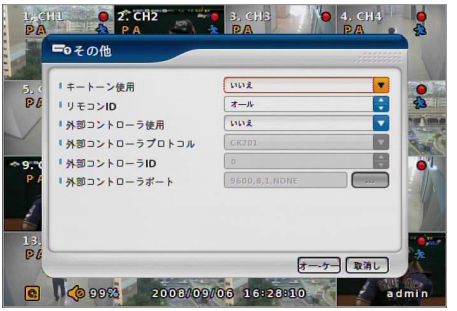
固定カメラ
シーケンシャルで出力しない場合の固定画面(CH)を選択します。

シーケンシャルカメラ
シーケンシャルするカメラを選択します。

カメラ切り替え時間
切り替わる時間を選択します。

その他

リモコン、ボタン音などの機能を設定します。



リモコンID
リモコンのIDを指定する項目です。
同じ場所で複数のDVRが設置された場合に設定します。

Chapter II – リモコン説明参照.

ボタン音
フロントパネルボタン操作時にボタン音のオン・オフを選択します。

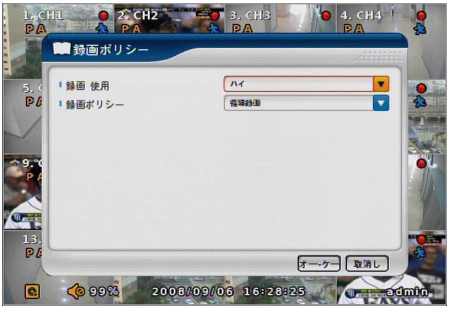
録画

録画

録画関連機能を設定します。

- 録画方式
- 録画設定

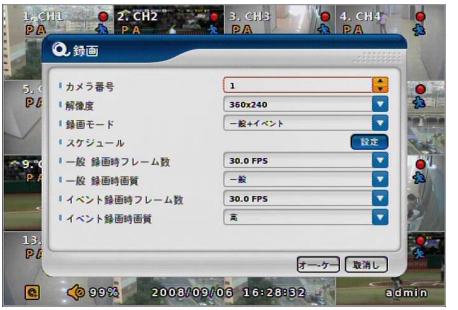
録画方式
録画方式を選択します。
1回録画、上書き録画が選択できます。



録画
カメラ別の詳細録画設定ができます。

解像度
カメラ別に3種類の解像度が設定できます。
360*240(CIF)
720*240(HALF-D1)
720*480(D1)

録画モード
録画方式を設定します。
通常+イベントは集中録画方式です。



通常録画フレーム数 / 録画画質
通常録画時のフレームおよび画質を設定します。

イベント録画フレーム数 / 録画画質
イベント録画時のフレームと画質を設定します。

スケジュール
1週間の録画スケジュールを設定します。

イベント

イベント

モーション、センサーなどのイベントを設定します。

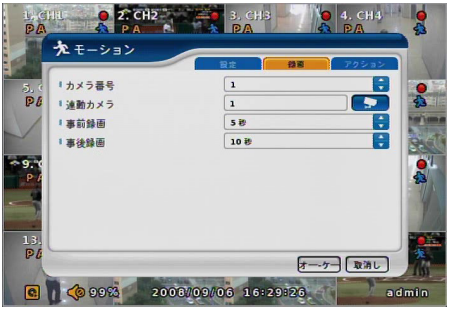
- モーション
- センサー
- 信号なし
- システム

モーション

設定
モーション領域設定および敏感度を設定します。

マウス右ボタンまたはメニューボタンを押して
領域を設定します。

録画
連動カメラ、プレアラーム、ポストアラームを設定します。



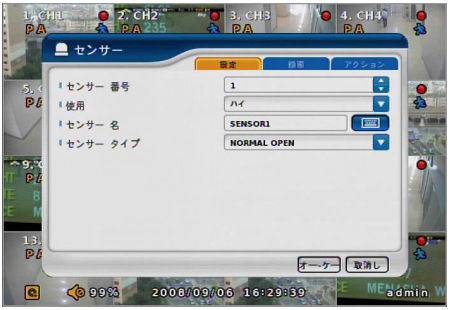
動作
イベント後の動作を設定します。
-ポップアップカメラ/持続時間
:ポップアップカメラおよび時間を指定します。
-アラーム/ブザー持続時間
:アラームおよびブザーの時間を設定しあmす。
-メール
:イベント情報をメールで発送する場合、選択します。
-コールバック
:イベント情報をAGENTに転送する場合に選択します。
-ログ記録
:ログ記録を保存する場合に選択します。

センサー

設定
センサー名およびタイプを設定します。

N/O : 通常はOPENで反応時に信号を転送するタイプの
センサーです。

N/C : 通常はCLOSEで反応時に信号を転送するタイプの
センサーです。

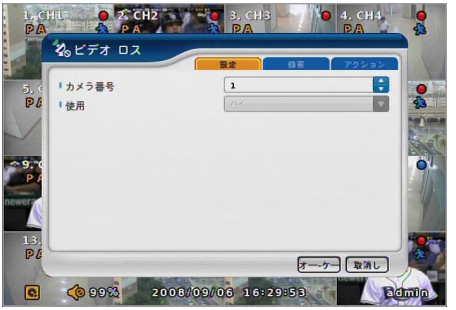


録画
連動カメラ、プレアラーム、ポストアラームを設定します。

動作
イベント後の動作を設定します。
-ポプアップカメラ/持続時間
:ポプアップカメラおよび時間を指定します。
-アラーム/ブザー持続時間
:アラームおよびブザーの時間を設定しあmす。
-メール
:イベント情報をメールで発送する場合、選択します。
-コールバック
:イベント情報をAGENTに転送する場合に選択します。
-ログ記録
:ログ記録を保存する場合に選択します。

信号なし

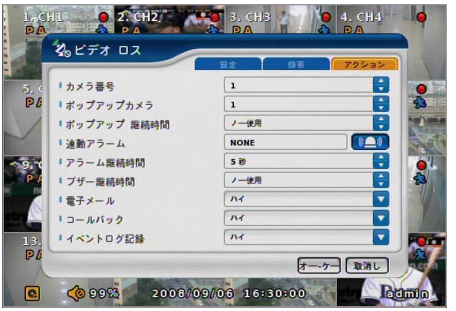
信号なしをイベントとして認識して他のカメラとの
連動録画および動作を設定することができます。



設定
信号なし機能のオン・オフを選択します。
*使用者の誤動作を防ぐために現在、
ONに設定されています。

録画
連動カメラ、プレアラーム、ポストアラムを設定します。

動作
イベント後の動作を設定します。
-ポプアップカメラ/持続時間
:ポプアップカメラおよび時間を指定します。
-アラーム/ブザー持続時間
:アラームおよびブザーの時間を設定しあmす。
-メール
:イベント情報をメールで発送する場合、選択します。
-コールバック
:イベント情報をAGENTに転送する場合に選択します。
-ログ記録
:ログ記録を保存する場合に選択します。

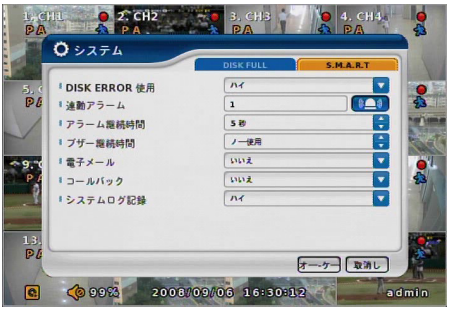


システム

HDDディスク関連イベントに関する設定項目です。

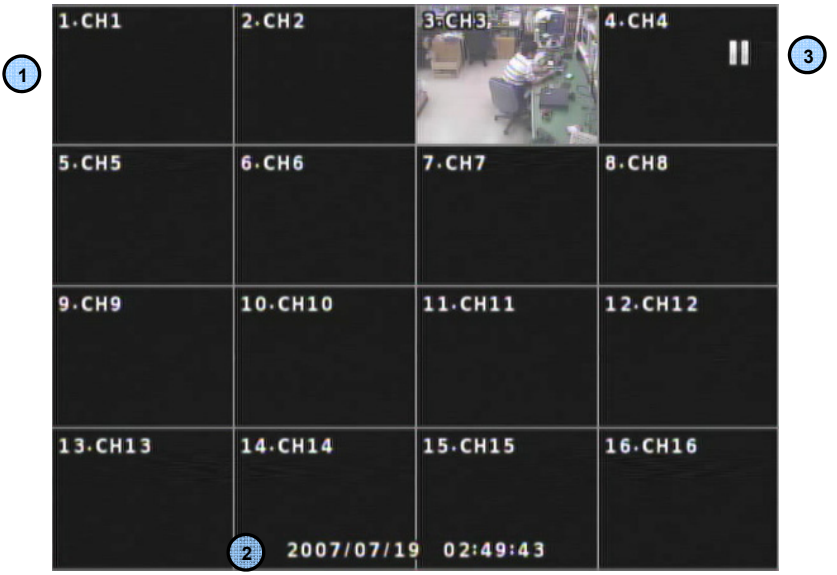
HDDディスクFULL
HDDディスクの容量がFULLになった時の
動作を設定します。

S.M.A.R.T
システムとHDDディスクのインタフェースとしてHDDの
情報を収集し、HDDディスクの情報を表示します。



Chapter-V. 検索

検索画面

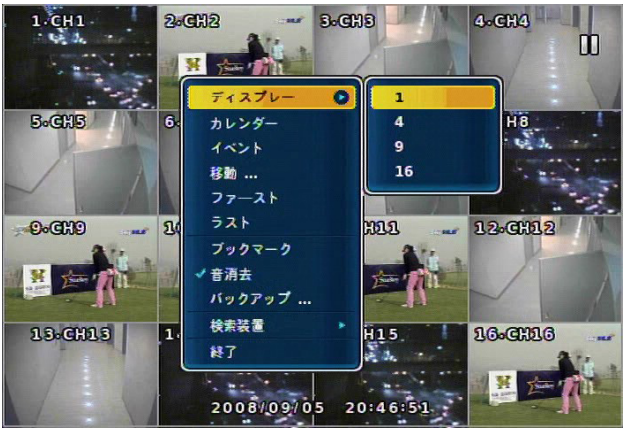


1 再生画面 : 映像再生
2 再生時間 : 再生時間表示
3 再生状態

再生アイコン

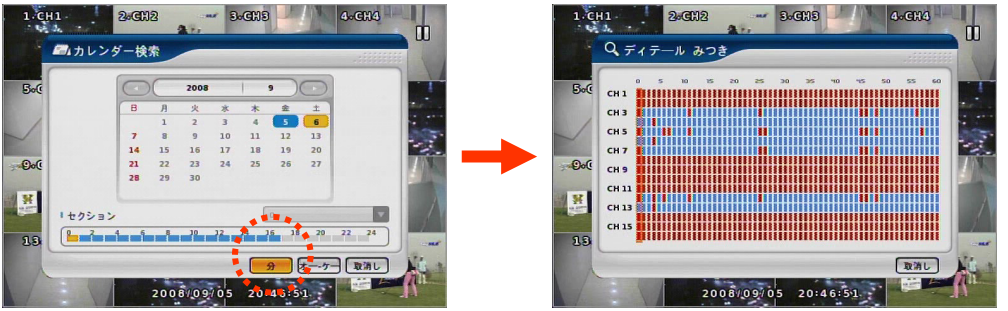
一時停止 (II)
再生 (▶)
早送り(▶ ▶, ▶ ▶ ▶, ▶ ▶ ▶ ▶)

検索メニュー * メニューボタンまたはマウス右ボタンをクリックします。



ディスプレイ
再生画面の分割画面を選択します。(1,4,9,16分割)

カレンダー検索
カレンダー画面で日付選択後、時間・分を順次で選択して検索する方式です。
分ボタンを選択すると右下画面のように詳しい録画状況が分かります。

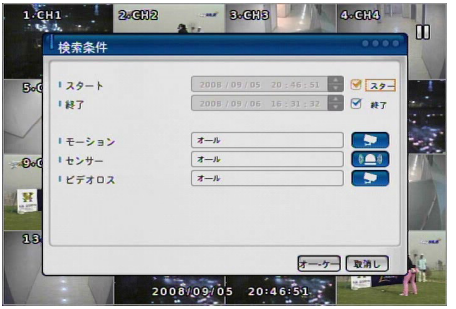


イベント検索
各イベント記録に対するリストが表示されます。
イベントを選択するとその時間の映像が再生されます。

注　意

**イベントリストに表示される項目をクリックして再生しても映像がすぐ再生されない場合があります。
これはその時間(秒)に録画された一番最初の映像が再生されるからです。**

検索条件
イベント検索が選択できる項目です。
-最初 / 最後
:イベント検索の最初・最後を指定します。
-モーション/センサー/信号なし
:各イベント中に検索するカメラおよびセンサー番号を選択できます。



日付/時間検索
日付/時間を入力して検索します。

最初
録画データの最初に移動します。

最後
録画データの最後に移動します。

ブックマーク
バックアップ時にブックマークに指定した時間が開始時間に自動で指定されます。
•検索中に事件が発生した瞬間をブックマークするとバックアップがより簡単にできます。
•システムが再起動されると既存のブックマークが解除されます。

検索装置

システムの内部・外部の録画・バックアップ装置を検索します。

内部装置
内蔵されたHDDディスクのデータを検索します。
(録画中は常時選択されています。)

バックアップ装置
バックアップ媒体のデータを検索します。

Chapter-VI. クライアンプログラム

リモート(REMOTE)

<리모트프로그램とは>
DVRに遠隔から接続して遠隔監視、遠隔検索、遠隔バックアップなどを行うための
遠隔接続プログラムです。
(付属のCDからリモートプログラムをインストールして使用してください。)

リモートプログラムの使用環境

1. INTEL P-4以上の PC
2. 256M 以上のメインメモリ (512M以上お勧め)
3. WIN2000 以上のO/S(WIN XP, Vista)
4. RGBが対応できる32MB VGAカード(ATI系お勧め)
5. 最小 10Mbps以上のネットワーク速度 (最大 100Mbps対応)

① 接続情報および接続ボタン

現在、接続中のDVR名とIPアドレス情報、接続状態を表示します。

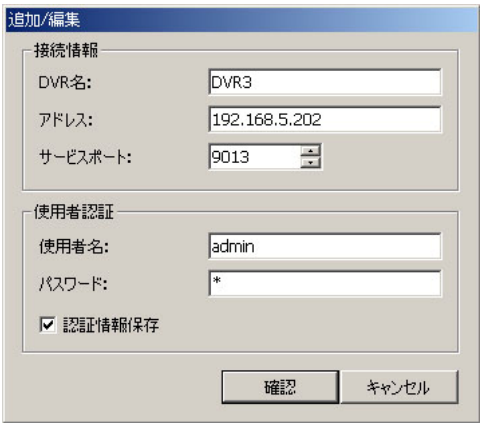
DVR にリモートプログラムを接続するために接続情報画面を表示するボタン

<DVR接続画面>

追加…: リモート接続のためのIPアドレス、使用者認証などの項目を追加します。

修正…: 既存のリストでIPアドレス、使用者認証などを変更します。

削除 : リストを削除します。



<新しい接続リスト作成画面 ／ 修正画面>

DVR名 :

DVR名を設定します。

アドレス :

接続する DVRに割り当てされているIPアドレスを指定してください。

(REAL IP または DDNSのホストネームを入力してください。)

IPアドレスとは
インターネットやLANを介してアクセスする場合、ネットワークの中の目的装置を見つけ出すためのアドレス・システム。IPアドレスはグローバルIPアドレスとローカルIPアドレスに分けられ、グローバルIPはインターネットを介して遠隔地からアクセスするためにDVR装置に設定します。グローバルIPまたはDDNSサービスID(ダイナミック・ドメイン・ネーム・サーバ:Dnmaic Domain Name Serverのホスト名)はインターネット・サービス・プロバイダ(ISP)、例えばインターネット・サービス会社等によって割り当てられます。

Service Port(サービスポート): DVR装置に割り当てられているものと同じ値をサービス・ポートに設定します。

サービス・ポートとは
パソコンやDVR装置等に対しローカルIPを有効にするための機能です。遠隔地からルータを介してそのルータにアクセスしたとき、または1つのグローバルIPを共有使用(IP Share)してアクセスしたとき、指定されたサービス・ポートへの自動接続を可能にします。(但し、この機能はルータまたはIP共有使用がサポートされているときのみ有効です)

使用者名 : DVRに認証されている使用者を入力します。

パスワード : DVRに認証されているパスワードを入力します。

認証情報保存 : 認証情報を保存します。

② プログラム情報および設定

プログラム情報 :

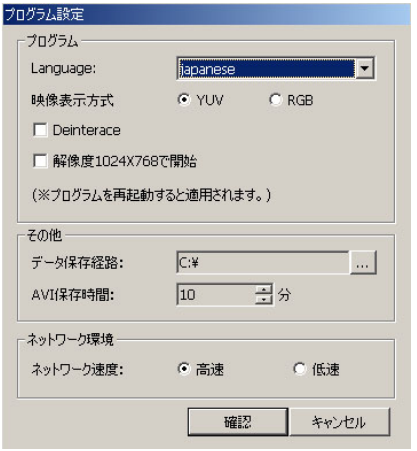
リモートプログラムの情報を確認します。

<プログラム 情報 の窓 >

プログラム設定 :

リモートプログラムの設定です。

(言語、画面出力方式、解像度、保存経路、ネットワーク速度など)



<プログラム 設定 の窓 >

言語：プログラムの言語を選択します。

映像表示方式：
YUVモード：PCのグラフィックカードの性能によって対応するかが決まります。RGBモードと比べて早くてきれいな映像を転送します。

RGBモード:一般的なグラフィックカードに対応します。YUVモードがサポートしない場合はRGBモードを選んで下さい。

解像度 1024X768に開始：チェックすると常時 1024X768の解像度に接続します。

<推薦グラフィックカード>
ATI系：Radeon7000シリーズ以上 (最小 32M以上), RADEON系…
NVIDIA系：M64シリーズ以上(最小 32M以上), GEFORCE系…
その他：YUVモード対応の VGAカード…

データ保存先 :リモートで保存する AVIファイルの保存経路を選択します。

AVI保存時間：リモートで AVI保存する時の時間を設定します。

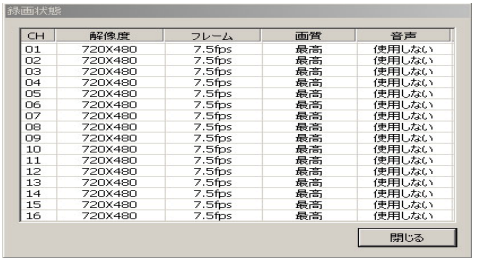
ネットワーク速度 ：

高速：システムが転送可能な最大速度で映像を転送します。

低速：安定性を優先して適切な速度で映像を転送します。

3 状態表示アイコン

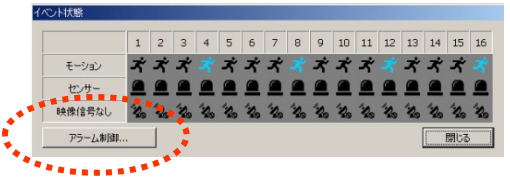
接続したDVRの状態を表示するアイコン


録画状態
CH 解像度 フレーム 画質 音声
01 720X480 7.5fps 最高 使用しない
02 720X480 7.5fps 最高 使用しない
03 720X480 7.5fps 最高 使用しない
04 720X480 7.5fps 最高 使用しない
05 720X480 7.5fps 最高 使用しない
06 720X480 7.5fps 最高 使用しない
07 720X480 7.5fps 最高 使用しない
08 720X480 7.5fps 最高 使用しない
09 720X480 7.5fps 最高 使用しない
10 720X480 7.5fps 最高 使用しない
11 720X480 7.5fps 最高 使用しない
12 720X480 7.5fps 最高 使用しない
13 720X480 7.5fps 最高 使用しない
14 720X480 7.5fps 最高 使用しない
15 720X480 7.5fps 最高 使用しない
16 720X480 7.5fps 最高 使用しない
閉じる

<録画状態情報>

接続した DVRの録画状態を表示します。

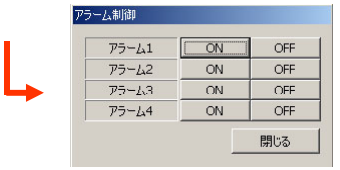
実時間で表示でれて録画状態を確認することができます。



<イベント状態情報>

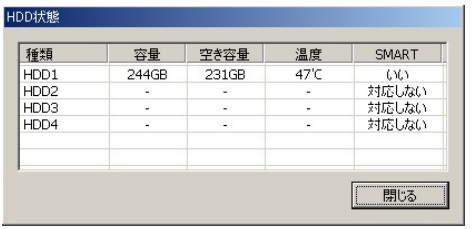
接続したDVRのイベント状態を表示します。

実時間で表示されてモーション、センサー映像信号なしを確認するこてができます。



<アラーム制御>

アラーム制御ボタンでアラームを制御することができます。



<HDDディスク状態情報>

接続したDVRのHDDディスク状態を表示します。

実時間で表示されて温度、現在の状態が確認できます。

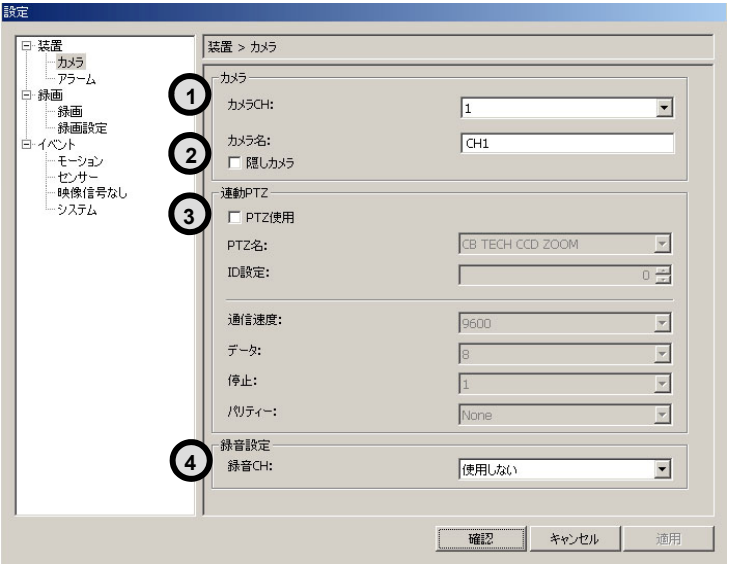
4 リモート検索および設定

設定

各ボタンをストリモート検索または設定が実行されます。

リモート検索

遠隔設定 <カメラ>



1 カメラ番号:設定するカメラを選択します。
全てカメラを選択すると一括で設定することができます。

☑ カメラ使用 :カメラ使用を選択します。チェックを解除したカメラは使用中止になります。

2 カメラ名 : カメラ名を変更･入力します。

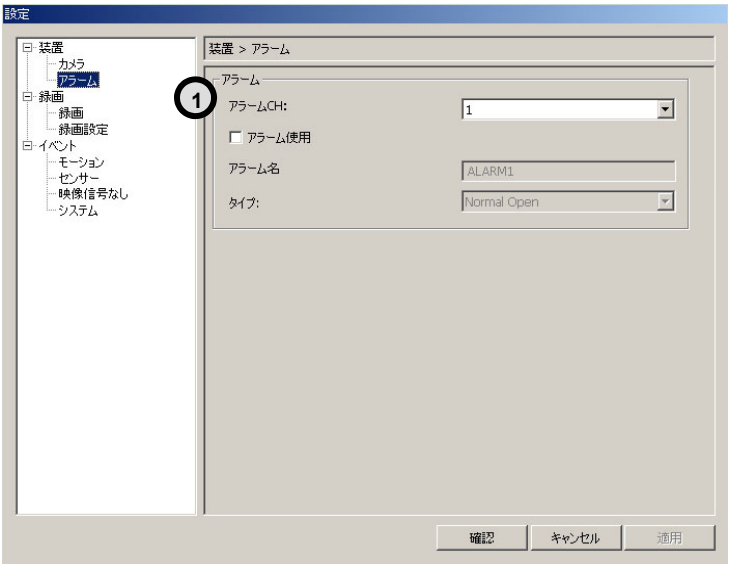
☑ 隠しカメラ : カメラの監視画面での表示を設定します。
チェックすると監視画面では表示されないが録画されます。

3 PTZ : PTZカメラを設定します。

☑ PTZ使用 : カメラのPTZを使用するかを設定します。
プロトコル : PTZカメラのプロトコルを設定します。
ID設定 : カメラのIDを設定します。
通信速度 : PTZの通信速度を設定します。
データ :データbitを設定します。
停止 : Stop bitを設定します。.
Parity : Parityを設定します。

4 録音設定 : 録音を設定します。

遠隔設定 <アラーム>

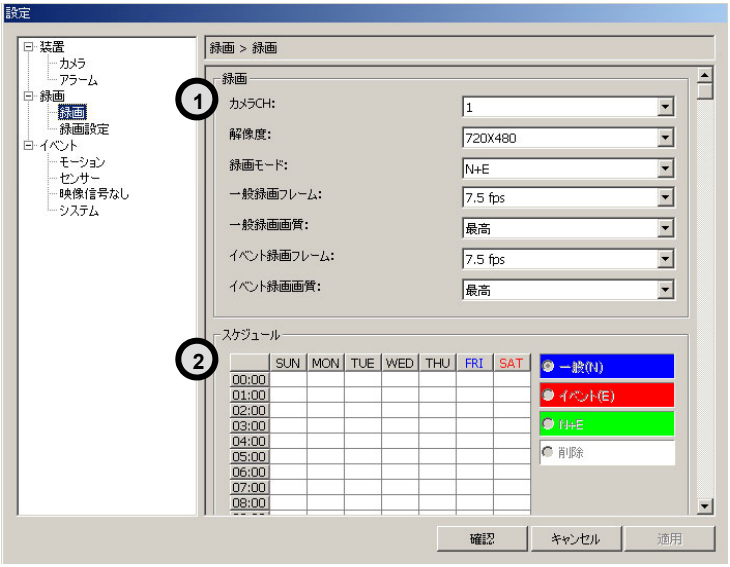


1 アラーム番号 : 設定するアラーム番号を選択します。

☑ アラーム使用 :チェックを解除するとアラームが中止されます。

アラーム名 :アラーム名を入力します。
タイプ : アラームタイプを選択します。

遠隔設定 <録画>



1 カメラ番号：設定するカメラ番号を選択します。

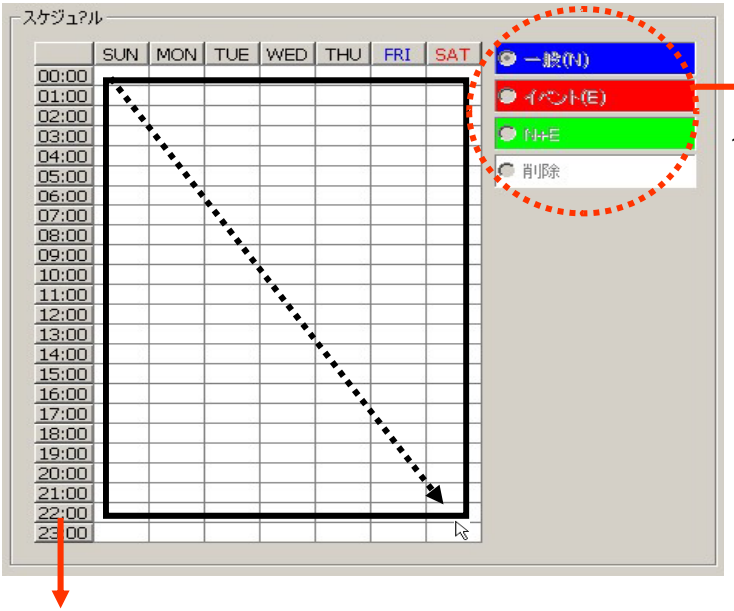
解像度：録画解像度を変更します。
720X480, 720X240, 360X240

通常録画フレーム：通常録画フレームを設定します。
通常録画画質：通常録画画質を設定します。

イベント録画フレーム：イベント録画フレームを設定します。
イベント録画画質：イベント録画画質を選択します。

スケジュール：録画方法を選択する項目です。
- 通常：常時録画
- イベント ：モーション、センサー、信号なし
- N + E ：常時録画 + イベント録画
- 削除 ：現在、選択されている録画スケジュールを消します。

② 遠隔設定 <録画 (日程表)>



色別の日程表示

通常(N)：(青)

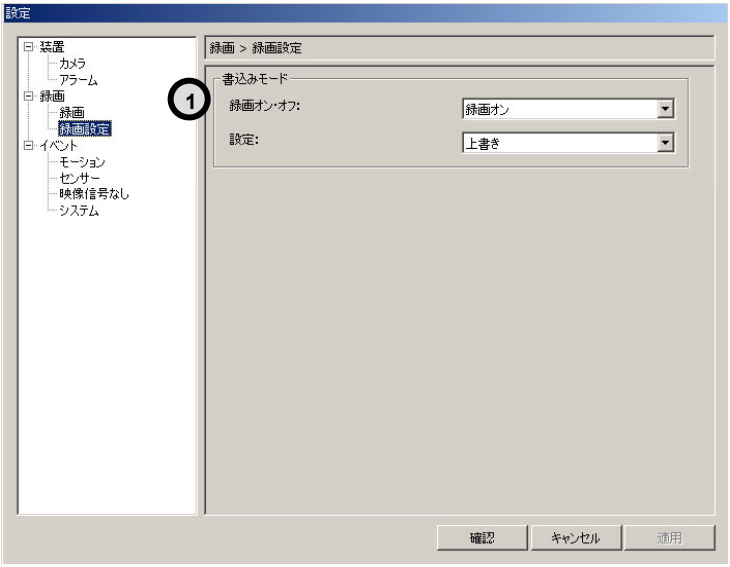
イベント(E)：(赤)

通常(N) + イベント(E)：(緑)

削除(録画しない)：(白)

<録画日程表>
指定したカメラをスケジュールに合わした後、
録画モードを選択してからマウスでドラッグします。

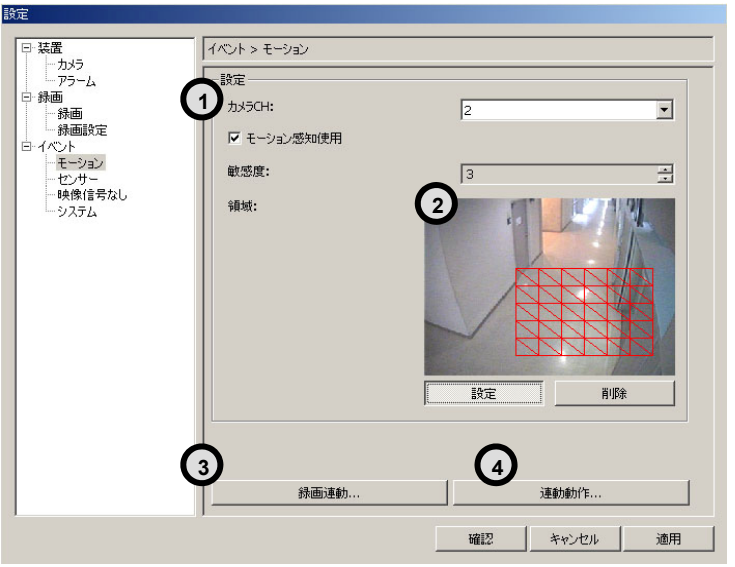
遠隔設定 <録画方式>



1 録画方式

上書き録画 : HDDディスクが100%になると過去のデータから上書きしながら録画します。
1回録画 : HDDディスクが100%になると録画を中止します。

遠隔設定 <モーション>

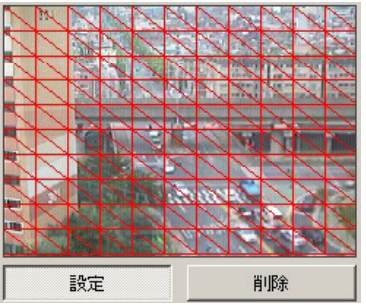


1 **カメラ番号**：設定するカメラ番号を設定します。

☑ モーション感知使用：モーション感知使用を選択します。

敏感度：敏感度を設定します。5段階で設定ができます。

2 **モーション領域**：モーション領域を設定します。



映像画面でマウスを利用してドラグして領域を設定します。

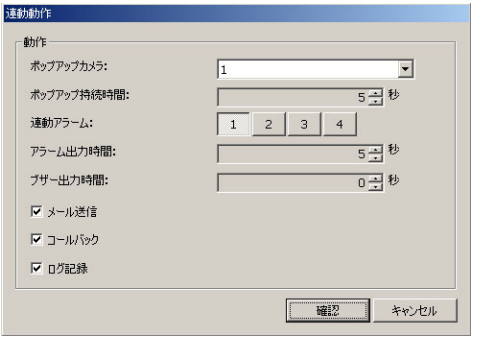
<領域設定ボタン>

③ 遠隔設定 <録画連動(モーション)>

連動カメラ :
指定したCHにモーションが感知された場合、録画を連動させるカメラを設定します。
※ 複数選択可能

プレアラーム ：プレアラームを設定します。(最大 5秒)
ポストアラーム ：ポストアラームを設定します。(最大60秒)

④ 遠隔設定 <連動動作(モーション)>



ポップアップカメラ :
指定したCHにモーションが感知された場合、ポップアップさせるカメラを選択します。
※ ポップアップ設定がオンに設定された場合作動します。

ポップアップ持続時間 :
ポップアップ持続時間を設定します。

連動アラーム :
モーションが感知された場合、出力するアラームを設定します。
※ 複数選択可能

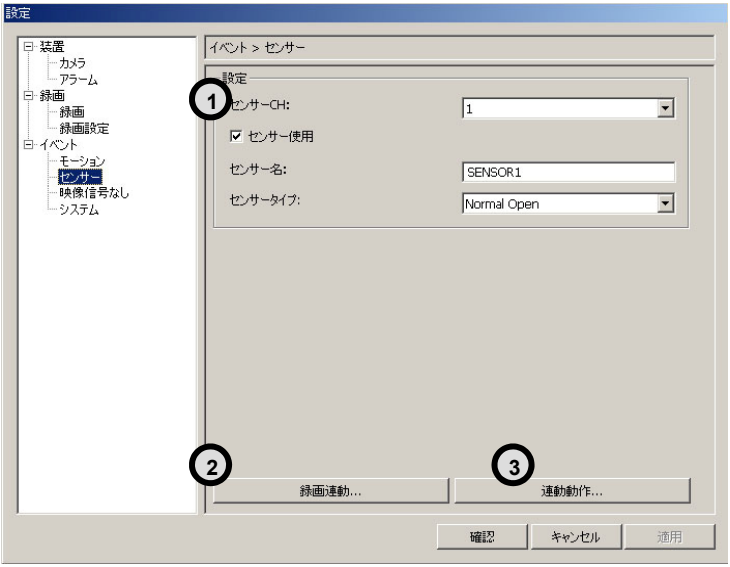
アラーム出力時間 ：アラーム出力時間を設定します。(最大30秒)
ブザー出力時間 :本体の ブザー出力時間を設定します。(最大30秒)

☑ メール :モーションが感知された場合、設定されたメールアカウントにログを転送します。

☑ コールバック : モーションが感知された場合、設定された IPアドレスにログを転送します。

☑ ログ記録 : モーションが感知された場合、ログに記録を保存します。
(システムログには保存されませんがイベント検索時にはリストに表示されます。)

遠隔設定 <センサー>



① **センサー番号** ：設定するセンサー番号を設定します。

☑ センサー使用：センサー使用を選択します。

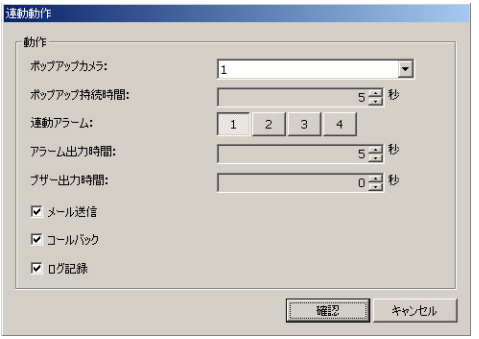
センサー名：センサー名を入力します。
タイプ：センサータイプを設定します。

② 遠隔設定<録画連動(センサー)>

連動カメラ :
指定したCHにセンサーが反応された場合、録画を連動させるカメラを設定します。
※ 複数選択可能

プレアラーム ：プレアラームを設定します。(最大 5秒)
ポストアラーム ：ポストアラームを設定します。(最大60秒)

③ 遠隔設定 <連動動作(センサー)>



ポップアップカメラ :
指定したCHにセンサー反応があった場合、ポップアップさせるカメラを選択します。
※ ポップアップ設定がオンに設定された場合作動します。

ポップアップ持続時間 :
ポップアップ持続時間を設定します。

連動アラーム :
センサー反応があった場合、出力するアラームを設定します。
※ 複数選択可能

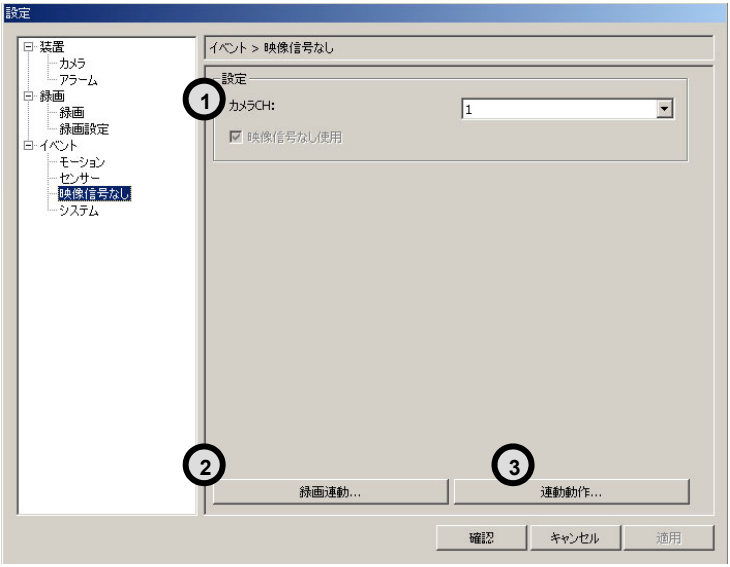
アラーム出力時間 ：アラーム出力時間を設定します。(最大30秒)
ブザー出力時間 :本体の ブザー出力時間を設定します。(最大30秒)

☑ メール :設定されたメールアカウントにログを転送します。

☑ コールバック : 設定された IPアドレスにログを転送します。

☑ ログ記録 : ログに記録を保存します。
(システムログには保存されませんがイベント検索時にはリストに表示されます。)

遠隔設定 <映像信号なし>



1 **カメラ番号** :設定するセンサー番号を設定します。

☑ 信号なし使用 : 信号なし使用を選択します。

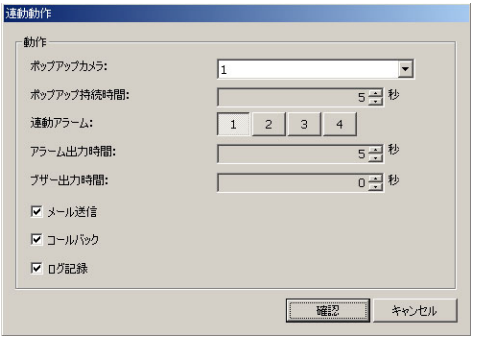
映像信号なしとは
原因分からない信号なしが発生した時、他のカメラに対する録画、イベント発生で信号なしの状況に対応するための機能です。

② 遠隔設定 <録画連動(映像信号なし)>

連動カメラ :
指定したCHが信号なしになった場合、録画を連動させるカメラを設定します。
※ 複数選択可能

プレアラーム ：プレアラームを設定します。(最大 5秒)
ポストアラーム ：ポストアラームを設定します。(最大60秒)

③ 遠隔設定 <連動動作(信号なし)>



ポップアップカメラ :
指定したCHが信号なしになった場合、ポップアップさせるカメラを選択します。
※ ポップアップ設定がオンに設定された場合作動します。

ポップアップ持続時間 :
ポップアップ持続時間を設定します。

連動アラーム :
信号なしになった場合、出力するアラームを設定します。
※ 複数選択可能

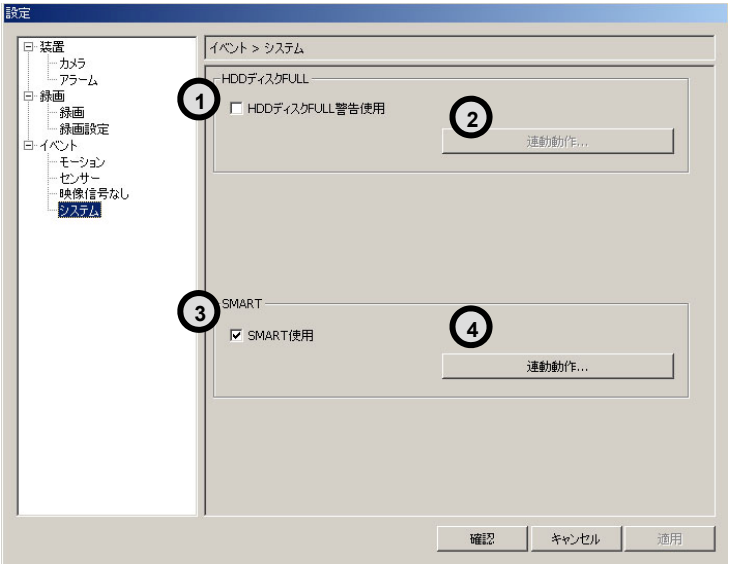
アラーム出力時間 ：アラーム出力時間を設定します。(最大30秒)
ブザー出力時間 :本体の ブザー出力時間を設定します。(最大30秒)

☑ メール :設定されたメールアカウントにログを転送します。

☑ コールバック : 設定された IPアドレスにログを転送します。

☑ ログ記録 : ログに記録を保存します。
(システムログには保存されませんがイベント検索時にはリストに表示されます。)

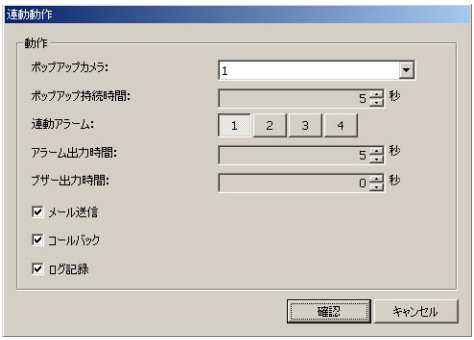
遠隔設定 <システム>



① **HDDディスクFULL** : 現在、録画保存しているHDDディスクの容量の項目です。

☑ HDDディスク Full警告使用 : HDDディスク保存量が100%になると連動動作を動作させます。

② **遠隔設定 <連動動作(HDDディスクFULL)>**



ポプアップカメラ :
使用できません。

ポプアップ持続時間 :
使用できません。

連動アラーム :
HDDディスクが100%になった場合、出力するアラーム設定します。
※ 複数選択可能

アラーム出力時間 : アラーム出力時間を設定します。(最大30秒)
ブザー出力時間 :本体の ブザー出力時間を設定します。(最大30秒)

☑ メール :設定されたメールアカウントにログを転送します。

☑ コールバック : 設定された IPアドレスにログを転送します。

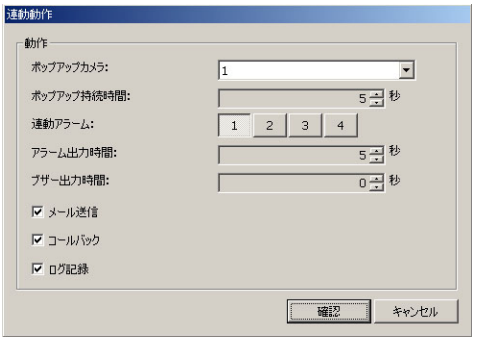
☑ ログ記録 : ログに記録を保存します。
(システムログには保存されませんがイベント検索時にはリストに表示されます。)

③ S.M.A.R.T

☑ S.M.A.R.T 使用 : S.M.A.R.T関連問題が発生すると連動動作が動作されます。

S.M.A.R.T 機能とは
HDDディスクの物理的なエラーをチェックする機能で温度、装置エラーなのどHDDディスクの全般的なHDDディスクの状態を持続的に監視します。
S.M.A.R.T警告が発生すると STATUSおよび LCDに「HDD NO. BAD」に表示され、この状態が続くとHDDディスクが壊れる恐れがありますのでHDDディスクを交換した方がいいです。

④ 遠隔設定 <連動動作(S.M.A.R.T)>



ポップアップカメラ :
使用できません。

ポップアップ持続時間 :
使用できません。

連動アラーム :
出力するアラーム設定します。
※ 複数選択可能

アラーム出力時間 ：アラーム出力時間を設定します。(最大30秒)
ブザー出力時間 :本体の ブザー出力時間を設定します。(最大30秒)

☑ メール :設定されたメールアカウントにログを転送します。

☑ コールバック：設定された IPアドレスにログを転送します。

☑ ログ記録：ログに記録を保存します。
(システムログには保存されませんがイベント検索時にはリストに表示されます。)

5 再生 & 停止

リモート Live画面で映像転送を開始／停止するボタンです。

映像が停止された場合にこのボタンを押すと再転送されます。

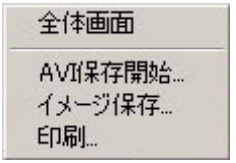
映像が転送されるいる時にこのボタンを押すと映像転送を停止します。

6 音量

リモート監視画面で音量を調整するボタンです。
※ 1画面にした場合、音声が転送されます。

7 マウス右ボタンの機能

リモート監視画面でマウス右ボタンをクリックすると下記のようなメニューが表示されます。



全体画面：操作画面を隠して映像が全体画面にないrます。

動画保存開始：
指定したCHのAVI保存を開始します。

イメージ保存..：指定したCHのイメージを保存します。(JPEGまたは BMPで保存されます。)
印刷 ：指定したCHの現在映像を印刷します。

⑧ チャンネル選択ボタン

指定したCHボタンをクリックすると1画面になります。

⑨ 分割画面選択

分割ボタン :分割画面を選択します。
全体画面 : 操作画面を隠して映像を全体画面に表示します。

※全体画面から戻すためにはマウス右ボタンを押して元に戻してください。

10 PTZ操作

PTZ対応カメラの場合リモートで操作できます。
※ PTZ対応リスト参照

方向ボタン :
上、下、左、右に動かすボタン

チャンネル表示 :
現在、選択されたCHを表示

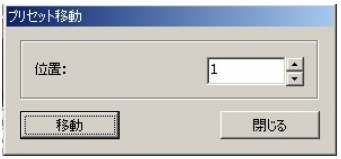
速度調整ボタン :
移動速度を調整します。

映像調整ボタン:
ズーム、フォカス、Irisなどを設定します。

プリセット保存ボタン

プリセット移動ボタン

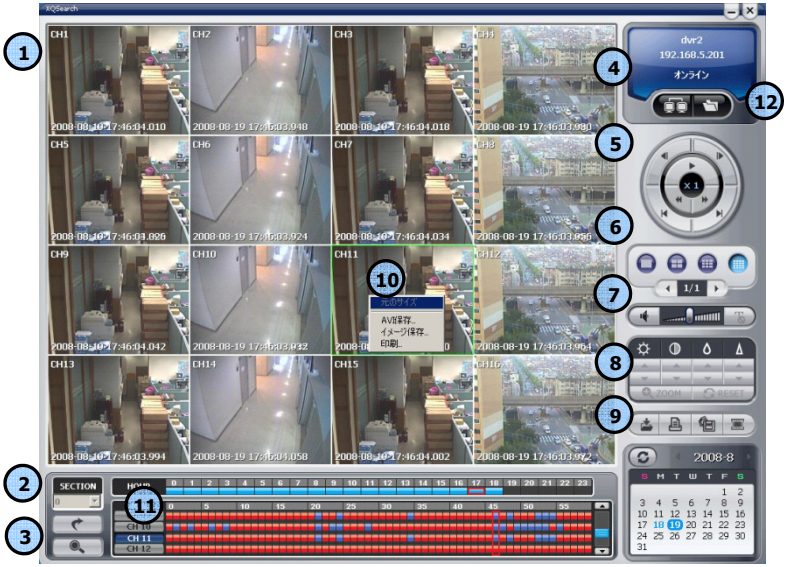
プリセット移動：保存されたプリセット番号に移動します。
プリセット保存：プリセットを保存します。



<プリセット移動>

<プリセット設定>

遠隔監視



1 映像再生画面

2 SECTION

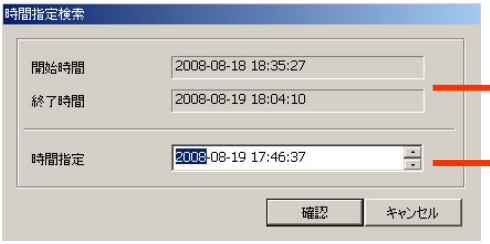
SECTIONを選択します。

Sectionとは
使用者が時間を現在時間より過去に変更した場合、データを削除せずに現在の録画時間から変更された過去時間までの録画データを別途で保存する機能です。

③ 日付/時間検索 & イベント検索

日付/時間検索：指定した時間を検索します。

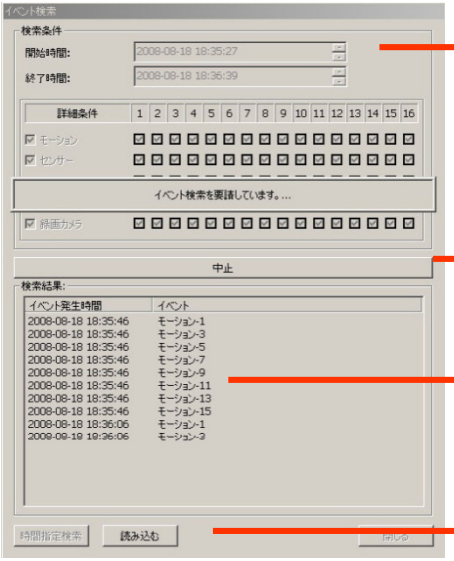
イベント検索ボタン：イベント検索画面を表示します。



現時、録画されたデータの開始時間と終了時間の情報を表示します。

時間を指定した後、確認ボタンをおすと指定した時間に移動します。

<日付/時間検索画面>



イベント検索の時間範囲を指定します。

検索するイベントとイベント番号を各CHと番号に合わせて選択します。

検索するCHを選択します。

イベント検索を開始します。

検索されたイベント情報

再生：検索されたイベントを検索します。
次：次のイベントを検索します。

<イベント検索画面>

設定項目でログ項目にチェックしてない場合はイベント検索を行っても検索されません。
イベント検索で検索されない場合は設定項目を確認してください。

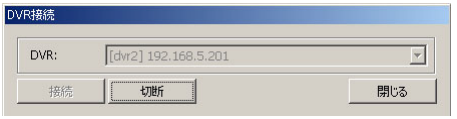
4 接続情報および接続ボタン

現在接続中のDVR名と IPアドレス、接続状態を表示します。

バックアップ再生実行ボタン

接続/接続解除ボタン

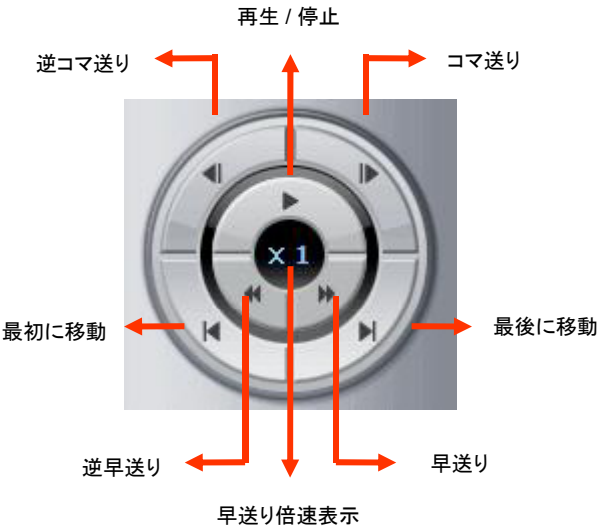
リストに保存されている他のDVRに接続する場合使用します。



<接続リスト画面>

DVR 接続リストに複数のDVRが登録された場合プログラムを終了せずに各DVRを遠隔で検索することができます。
※ ただし、検索で接続リストの編集はできません。

5 再生ボタン

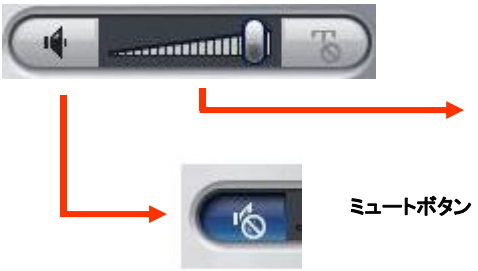


6 分割画面ボタン

分割画面を選択します。

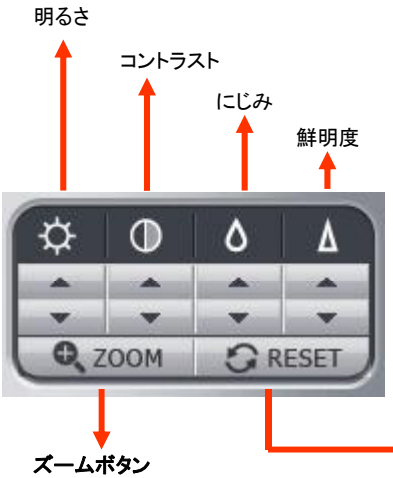
7 録音再生

音量



ミュートボタン

8 色相像調整ボタン



明るさ調整ボタン

コントラスト調整ボタン

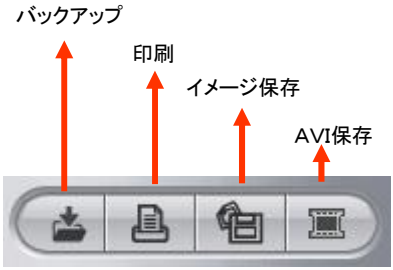
にじみ調整ボタン

鮮明度町瀬尾ボタン:

ズームボタン

初期化ボタン

⑨ 保存関連ボタン



バックアップ：
検索された映像を圧縮されたイメージファイルで
バックアップします。

印刷：
検索された映像を印刷します。

イメージ保存：
検索された映像をイメージファイルで保存します。
(JPEG, BMPファイルで保存)

動画保存：
検索された映像を動画ファイル (AVII)で保存します。

<バックアップ画面>

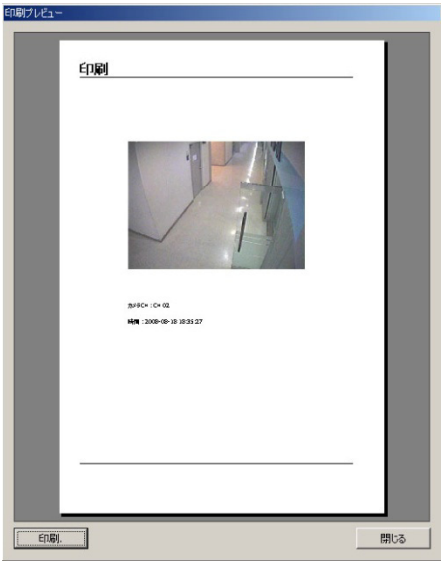
保存情報：
バックアップする映像の開始時間と終了時
間を指定します。

カメラ選択：
バックアップするカメラを選択します。

その他：
録音とイベントの選択します。

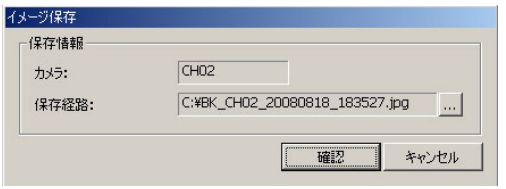
バックアップ経路：
指定した経路にバックアップされます。「…」
ボタンで経路を変更することができます。

全体容量：
保存するPCの容量を表示します。
使用容量：
現在、使用されている容量を表示します。
残り容量：
保存可能な容量を表示します。



<印刷プレビュー画面>

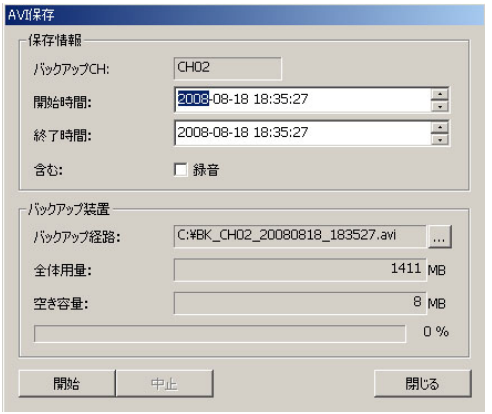
印刷プレビュー：
印刷する映像をプレビューで表示します。
映像の下にはカメラの詳細情報が一緒に
印刷されます。



<イメージ保存画面>

イメージ形式
JPG、BMP形式 で保存できます。

保存経路：
指定された経路にバックアップします。「…」
ボタンで経路を変更することができます。



保存情報
保存する映像のカメラ番号および開始時間、終了時間を選択します。

その他：
録音とイベントの選択します。

バックアップ経路：
指定した経路にバックアップされます。「…」ボタンで経路を変更することができます。

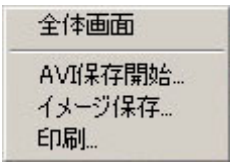
全体容量：
保存するPCの容量を表示します。
使用容量：
現在、使用されている容量を表示します。
残り容量：
保存可能な容量を表示します。

<動画（AVI）保存が画面>

<AVファイル再生時に録画日付/時間確認方法>
バックアップされたAVIファイルをMedia Playerで再生時、キャプション・オプションにチェックしてください。

10 マウス右ボタンの機能

リモート監視画面でマウス右ボタンをクリックすると下記のようなメニューが表示されます。



全体画面：操作画面を隠して映像が全体画面にないrます。

動画保存開始：
指定したCHのAVI保存を開始します。

イメージ保存..：指定したCHのイメージを保存します。(JPEGまたは BMPで保存されます。)
印刷 ：指定したCHの現在映像を印刷します。

11 カレンダー検索

カレンダーで簡単にデータを検索することができます。

年/月選択

録画日付（青）：
録画された日は青い色で表示されます。.

現在の日付(青い丸)：
システムの現在の日付です。

陸がされていない日付（黒）：
録画データがないと黒で表示されます。

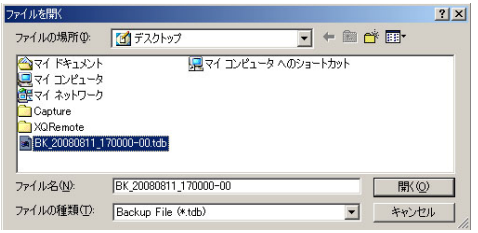
時間帯表示：24時間で表示だれて、選択される1ラインは1時間です。

カメラ選択ボタン:
停止状態でボタンを押すと指定したCHに
変更されます。

分選択:
分を選択します。

12 バックアップデータの再生

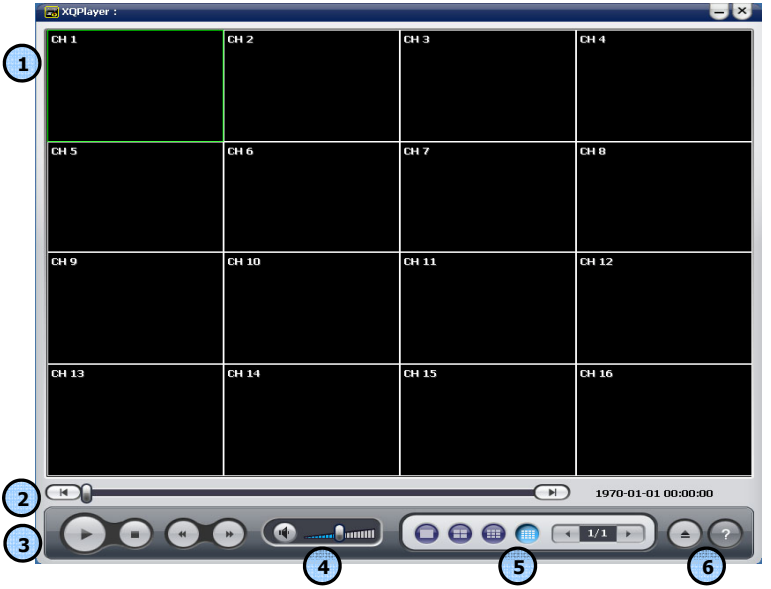
バックアップデータ再生ボタン：
バックアップされたデータが再生できます。



バックアップ再生ボタンをクリックすると左側のような画面が表示されます。保存先を選択してファイルを選択すると再生されます。

バックアップデータ再生はイメージファイル形式でバックアップしたデータのみ再生ができます。AVI 形式のバックアップデータは Windows Media Playerで再生してください。

再生



1 映像再生が画面

2 最初／最後

最初へ：
録画データの最初に移動

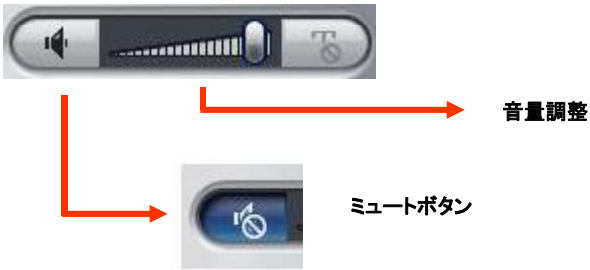
再生進行バー：
現在再生中の位置表示

最後へ：
録画データの最後に移動

③ 再生ボタン

④ 音量

リモート監視画面で音量を調整するボタンです。
※ 1画面にした場合、音声が転送されます。

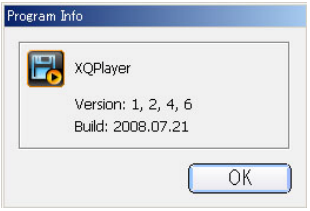


⑤ 分割画面

分割画面選択 : 分割画面を選択します。

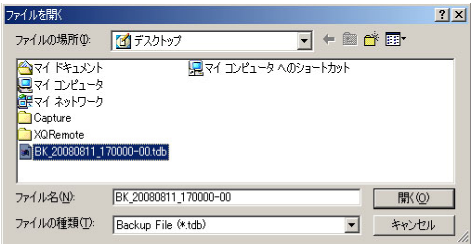
6 読み込み/プログラム情報

情報：
プログラム情報を表示します。



<プログラム画面>

読み込みボタン：
バックアップ画面を読み込むボタンです。

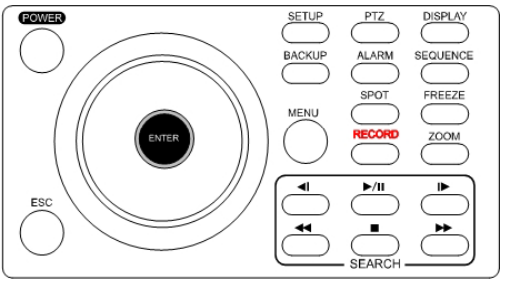


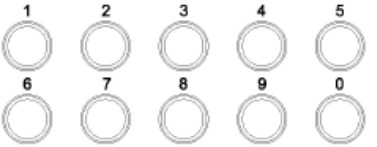
バックアップ再生ボタンをクリックすると左側のような画面が表示されます。保存先を選択してファイルを選択すると再選されます。

バックアップデータ再生はイメージファイル形式でバックアップしたデータのみ再生ができます。AVI 形式のバックアップデータはWindows Media Playerで再生してください。

Chapter-VII. 付録

フロントパネルボタン説明





項 目	内 容
Power	- 電源オン･オフ
ESC	- 各モード／メニューがら戻る - 再生中に検索モードに戻る
ENTER	- 各メニューの選択 - 設定値の入力確認 - マウス左ボタンと同じ
SETUP	- 設定
BACKUP	- 監視モードでバックアップ出力 - 再生モードでバックアップ
MENU	- マウス右ボタンと同じ
PTZ	- PTZ制御モード
ALARM	- ALARM制御
SPOT	- 外部モニター制御
RECORD	- 緊急録画のオン･オフ
DISPLAY	- 画面分割モード変更 (3秒間押し続く → 画面出力方式変更)
SEQUENCE	- シーケンシャルモード開始 / 終了
FREEZE	- 画面フリーズ開始/解除
ZOOM	- 画面ズーム/解除
BACK STEP	- 逆コマ送り
PLAY/PAUSE	- 再生/一時停止
STEP	- コマ送り
REW	- 逆早送り
FF	- 早送り
0 ~ 9	- 数字ボタン (1画面選択, 設定値入力)

Hot Key

項 目	内 容	備 考
Display	- 画面出力モードをCRT専用に設定/解除(3秒間押し続く)	- VGA共用に比べて画質がいい
BACK STEP	- カレンダー検索モード	- 監視モードから
PALY/PAUSE	- 最後の再生されたところに移動	- 監視モードから
STEP	- イベント検索モード	- 監視モードから
REW	- 録画データの最初へ	- 監視モードから
FF	- 録画データの最後へ	- 監視モードから

製　品　保　証　書

● 製品ご購入後1年間正常な使用状態において、万一発生する故障には無償にて修理いたします。

● 次のような場合には保証期間内でも有償修理となります。
- 取扱上の誤り及び不当な改造や修理による故障及び損傷
- お買上げ後の移動、落下あるいは輸送による故障及び損傷
- 火災、塩害、ガスによる害、異常電圧による故障及び損傷
- 天災地変などによる故障及び損傷
- その他、不適当な取扱又は使用方法による故障の場合

● 製品形態及び回路などは性能改善のために予告なく変更される場合があります。

MODEL NO.		
SERIAL NO.		
ご購入日		
ご購入代理店		
お客様	**お名前**	
	ご住所	

※　本保証書は日本国内に限り有効と致します。